

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
1	韓国の国会には桜がいっぱいあった。酒田にもロシアや中国、韓国などの花を植えてはどうか。	国際交流	意見	Aグループ(第3回)	総務課	総務
2	飛島の漂着ごみの状況はひどい。市の補助も少ないし、なんとか国の制度で撤去するようにすべきだ。	飛島振興	意見	Aグループ(第2回)	総務課	総務
3	飛島クリーンアップ作戦に参加しているが、現場の状況が市長などに伝わっているか。昨年より今年の方がゴミの量が多くなっている。人力での処理はもう無理でないか。	飛島振興	意見	Bグループ(第2回)	総務課	総務
4	飛島クリーンアップ作戦をしている飛島西海岸に降りる箇所に道路整備してもらいたい。そうなれば重機が入れるようになり、作業が進めやすくなる。	飛島振興	要望	Bグループ(第2回)	総務課	総務
5	自治会活動に参加する人が少なくなってきた。みずほでは、自治会で出店を出し他の地区からも人を呼び込んでいるが、それでも先しほみ気味だ。自治会の活動もボランティアだ。有償ボランティアがあっても良い。いざ災害が起きたとき地域で何が出来るのか。行政では自治会にどれだけのことを求めるのか。これらのことを考え指針などを策定すべき時期に来ているのではないか。	防災対策	意見	Aグループ(第1回)	危機管理室	総務
6	旧酒田市のコミセンは防災資材庫などが整ったものができてきたが、旧3町地域では、防災機能を備えた集会施設整備が遅れているので取り組むべきだ。	防災対策	意見	Aグループ(第2回)	危機管理室	総務
7	自治会には自主自衛のための防災組織があるが、実際に消火など防災活動をする機会はなくほとんどが飲み食いまで終わっている。消防団員もいるが日中は仕事で不在が多いので、家庭にいる人が実際消火栓などの水をはじけるように訓練したらどうか。	防災対策	意見	Aグループ(第2回)	危機管理室	総務
8	大火から30年経った。今一度防災に対する市民の意識の啓発を行うべきだ。大火の資料は資料館にあるはずだが車では交通アクセスが悪く行きづらい。周辺の交通体系も見直すべきだ。何時どこでどんな災害が起きるかわからない。防災意識を一人ひとりが持って対応する必要がある。	防災対策	意見	Aグループ(第2回)	危機管理室	総務
9	防災教育も学校でやるのがよい。最近の災害は、ピンポイント、ゲリラ的なものが増えてきた。	防災対策	意見	Aグループ(第2回)	危機管理室	総務
10	防災や救急の訓練なども横のつながりを持ってもらいたい。他にも行事が多く、高齢者だけが出てくるような状況が見受けられる。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務
11	一人暮らし老人等が多くなっている。阪神淡路大震災の時には自主防災組織よりもNPOの方が早く一人暮らし老人の安否を把握していたと聞いた。災害時には遠方からの問合せもあるので、民間組織との連携も考えていくべき。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務
12	災害対応については、各家庭で備付の連絡先一覧をケースなどに入れて、誰が見ても分るように作っておくのが有効だと思う。	防災対策	参考意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務
13	消防団への入団者が減っている。また、災害時に地域で動ける人が少なくなっている状況だ。そうしないためにも消防団以外の方にも自主的に知識を習得してもらうための講習会などを行い、講習が終了した場合には帽子を差し上げるなどしてはどうか。危険なことはさせられないが、災害時には助かると思う。また、退団した人も知識は豊富なので、応援を頼んではどうか。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
14	消防、防災等については、今後、市民にPRを図り講習会や講義を行うとのことだった。危機管理室もできたようだが、その動きが見えない。どのように進んでいるのか。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務
15	防災については紙に書いたものを読んでもらうのも悪くはないが、写真などを見せながら講習会を行った方が印象に残る。そういった取組みが必要だ。要望のあった町だけでなく満遍なく講習をしてもらいたい。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務
16	静岡などでは電柱に地震の祭の避難場所はどこですよと表示していた。酒田も地震のことは言われているので、そういったことも真似していくべき。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務
17	酒田大火30周年ということで浜田学区で震度5を想定した避難訓練を行うが、そういった取組みに対する市危機管理室の指導のあり方を明確にしてもらいたい。実施する時のマニュアルや指示が必要だと思うが。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務
18	市内を歩いても酒田大火でどこまで焼けたかが分りづらい。特に市外から来た人は分らない。この縁石の内側が焼けたところですよなどといった表示が欲しい。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務
19	消防団に入っているのは農家のお父さんが中心となっている。もっと自治会などで盛り立てて入団者を増やしてもらいたい。	防災対策	意見	Dグループ(第2回)	危機管理室	総務
20	消防体制の強化について 自主防災組織とは自助・共助を示すものであり、大災害時の減災効果が大きい。消防団は公の組織であって、地域防災ためだけのものではない。 総合型の訓練から人命救助を最優先する災害対策訓練へ転換すべき。	防災対策	意見	Dグループ(第2回)	危機管理室	総務
21	防災無線の整備を各自治会館まで聞こえるようにしてもらいたい。	防災対策	要望	Dグループ(第2回)	危機管理室	総務
22	自主防災組織の活動は着実に進んでいるが、小規模自治会になると手薄となってしまうので、複数自治会によるブロック化した自主防災組織が必要である。	防災対策	意見	Dグループ(第2回)	危機管理室	総務
23	酒田は最上川と赤川の河口にあり、氾濫すれば全域が水没する。日本海沖地震が起きたら被害も大きいだろうと思う。どこへ避難したらよいか意外とみんな分らない。防災ガイドブックが昨年できたが防災訓練を年何回かやるべき。自分の自治会でもここ何年かやっていない。酒田大火の日に合わせて実施してもよいのでは。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	危機管理室	総務
24	実際に、災害が起きた場合どれくらいの人数を病院で受け入れることができるのか。災害時の医療ネットワークを充実する必要がある。	防災対策	意見	Bグループ(第1回)	危機管理室	総務
25	災害について、例えば地震があったときはどこに避難すればよいのかなど、観光施設に関わる避難誘導等の表示が何も無いように思う。	防災対策	意見	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務
26	自主防災組織が各自治会にあり、防災訓練にも参加させていただいている。個人情報保護法ができてから、未就学児や自治会に住所がないけれども家族が引き取っている高齢者などの情報がわからなくなった。どうやって助け合うのか、個人情報について、どのような対応になるのかが課題である。	防災対策	意見	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
27	やっているところもあるが、子供でもできる救急法、高齢者でもできる止血法とか、介護予防でもやっているような自分の身を守る、あるいは助け合うということをしてPRする形で自主防災に加えてほしい。	防災対策	要望	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務
28	体の不自由な方には、保護法もあるが情報を表に出したくない人もいるみたいで、登録されていない方もおり、身障者の会でも把握できていないということである。市ではそこまで踏み込んでわかるのが当然であり、何かあったときには必ず必要なことである。	防災対策	意見	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務
29	10月29日を酒田大火の日にして、大掛かりでなくても、昼でも夜でも平日でも、その日を忘れないために防災訓練をしてほしい。やっているとするれば説明不足であるし、何の日かわからない人がかなりいる。	防災対策	要望	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務
30	安全で安心して暮らせる街がポイントである。特に旧酒田市の自主防災組織の組織率が半分以下であり、自治会によっているんな事情はあると思うが、理屈ではなく組織を作って自主的活動をする必要があると思う。	防災対策	意見	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務
31	洪水・風水害はわりと時間的余裕があるし、酒田大火以来、防火に対する関心度も高いと思うが、地震は心配であり、酒田市、鶴岡市を中心にかなりの被害が出るという予想もされている。地震対策について、公設の避難場所が防災の建物ではないことは大問題であり、優先的に整備してほしい。一般の建物も耐震診断を受けなければならないので、そういったものにも他の予算より重点をおいてほしい。	防災対策	意見	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務
32	お年寄りや子供などの自分で避難できない災害弱者についての情報開示はできないとなっている。防災避難のためとして自治会単位で5年毎の国勢調査に併せて家族調書のような調査をする方法もあると思うし、各自治会単位で決めていかないと駄目なのではないか。	防災対策	意見	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務
33	一般市民は災害が起これば右往左往するだけだと思う。それをコントロールする、あるいは誘導する組織体の組織と、年1~2回の抜き打ちの訓練をすることが大事だと思う。	防災対策	意見	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務
34	現状で決まっている避難場所で、大町のエリアが光ヶ丘か日和山あたりになっている。高いところなので、逃げていくとは思いますが、海からはできるだけ避けていく方向が当然のことだと思うし、合併した平田、松山も車で近いので、早急に考え直されたほうが良いのではないかと思います。	防災対策	意見	Cグループ(第2回)	危機管理室	総務
35	市庁舎は、大災害発生時の対策本部となる。だいぶ古くなっていることから、耐震性に不安がある。補強工事や改築が必要となるはず。箱物整備を行うことは反対であるが、庁舎整備は最優先とすべき。	防災対策	意見	Dグループ(第2回)	管財課	総務
36	山形新幹線の庄内延伸については、県民の一体感の醸成と県土の一体的な発展、高齢者等の交通弱者対策などに重点を置いて運動をすすめてほしい。もし延伸にならなかった場合は、陸羽西線が廃止される可能性もあり、第三セクターとしての存続では地元負担が重くなると考えられる。	交通基盤	意見	Dグループ(第3回)	企画調整課	総務
37	酒田の町のへそはどこなのか。昔は本町に法務局や郵便局もあったのだがみな移転してしまった。	公的機関	感想	Aグループ(第2回)	企画調整課	総務
38	合併して市民憲章をつくったが、日和山には以前から酒田市民の誓いという碑がある。市民憲章と似たようなものなのでなくすならなくす、両方生かすなら生かすなどはっきりさせて欲しい。	市町村合併	意見	Bグループ(第2回)	企画調整課	総務

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
39	公文大を設置する際に、海の近くなので海洋学など海に関わる部門を設置してほしいと要望した。県外から学生がきているので、プール教室はあるようだが、海、山を取り入れた教育を取り入れてほしい。	大学まちづくり	意見	Dグループ(第1回)	企画調整課	総務
40	大学まちづくりについてだが、最近、東北公益文科大学に2回ほど自分の勉強の参考になるものがないかと思って行ったが、あまりなかった。大学の真のニーズは何なのか疑問に思った。これから社会的に、酒田市に国に県にどれだけのものを還元できるのか、どういう者を育てて送り出せるのか非常に薄いと感じた。酒田市としてどう持って行くのか明確化すべきでないか。酒田短大の二の舞になるのが心配だ。	大学まちづくり	意見	Aグループ(第1回)	企画調整課	総務
41	郊外には東北公益文科大学ができ、その学生がまつりや商店街の行事にも参加しており、酒田市の若者のエネルギーを出してくれているので、酒田市のやったことの良い面が出ている。	大学まちづくり	意見	Aグループ(第1回)	企画調整課	総務
42	東北公益文科大学の学生の顔が街中に見えない。これは学生寮が大学の隣に造ってしまったため、学生が市街地に住んでいないのが大きい。地域とのつながりが少ない。大学ではNPO法人一つつくっていない。教授、助教授が中心となっていくつものNPOを立ち上げ企業などを巻き込みながら自ら動くべきだが、そんな姿勢がみられない。大学については根本的に変わっていただきたい。大学と地域の連携はこれからは不可欠だ。優先順位一番で取り組むべき課題だ。	大学まちづくり	意見	Aグループ(第1回)	企画調整課	総務
43	東北公益文科大学の卒業生が地域に根付く方策を考えるべき。	大学まちづくり	意見	Aグループ(第1回)	企画調整課	総務
44	ソウルでは、ソウル大学が市街地から郊外に移転した。大学周辺では、学生の芸術などを披露して発展し面白い場所になった。公益大でも市街地で芸術や活動の発表をしたりしてはどうか。	大学まちづくり	意見	Aグループ(第3回)	企画調整課	総務
45	学会の関係では慶応大学との交流が見えるようにしてもらいたい。そうなれば、こんなすばらしい大学が酒田にあると全国的に伝わるのだと思う。	大学まちづくり	意見	Bグループ(第2回)	企画調整課	総務
46	大学まちづくりについてだが、東北公益文科大学の学生は現在821人だが、少子化もあり10年後もこの人数がいるか心配する。したがって市民が大学を育てていく必要がある。大学生といっしょに行動することが重要と考える。企業やNPOなどといっしょに学生がまちづくりの実行委員会に参加・企画してレベルアップを図るべき。	大学まちづくり	意見	Bグループ(第2回)	企画調整課	総務
47	酒田と言えば「公益のまち」と全国から注目を浴びるようにしていかなければならない。	大学まちづくり	意見	Bグループ(第2回)	企画調整課	総務
48	大学まちづくりや市民に開かれた大学という視点では、公益研修センターやメディアセンター、食堂などハード部分では上手く整備が進んだと思う。これからは、市民意識の高揚を図りソフト面での関わりを密にしていかなければならない。	大学まちづくり	意見	Dグループ(第2回)	企画調整課	総務
49	幼稚園も大学生とはつながりを持っている。演劇などの行事に参加してもらっており、行政とは別に草の根運動として広めていきたいと思っている。	大学まちづくり	意見	Bグループ(第2回)	企画調整課	総務

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
50	酒田に人を呼び込むには、県外にないものが必要だ。例えば、希望ホールのイベントにしてもマニアックなものにするなど工夫してはどうか。あるいは、癒し系の施設を造るとか。	地域振興	意見	Aグループ(第3回)	企画調整課	総務
51	そうすれば中間地点にある国立倉庫も活用できる。	地域振興	意見	Bグループ(第2回)	企画調整課	総務
52	若者の定住が少ないために消防団員や伝統芸能継承など、一人の若者への負担が大きくなっている。無理をかけすぎないように次の世代につなぐ必要がある。	地域振興	意見	Dグループ(第2回)	企画調整課	総務
53	日吉町に住んでいるが、飛島に次いで高齢化世帯のシェアが多い。夏休みのラジオ体操でも以前は子どもが50人くらい集まったこともあったが今は10人前後だ。空き地や空き家も増えた。神社の祭りには、子どもが減ったためか、これまで3~4軒来ていた出店も今年からなくなった。一番困るのは、商店をやるにしても神社の催しをやるにしても後継者が居ないことだ。	地域振興	意見	Aグループ(第1回)	企画調整課	総務
54	酒田市は良い街だと思う。所得が低いとか、最低労働賃金が下から何番目だとか言われているが、収入も少ないが支出も少ない、可処分所得というか懐に残るお金が少ない街、他県にはない。結構皆さんが豊かに暮らしている。良い車に乗って、子弟は良い大学に行くと恵まれていると思う。これから豊かな暮らしを市民が望むときお金だけなのか。お金を稼ぎたいから産業振興したいとなるのであろうが、もう少し別の角度があるように思う。まちづくりの特色として他の市町村にないような施策があると良い。その一つにはコミュニケーションがキーワードになると思うが、市民に対してはキャッチフレーズ、特色というものが大事ではないか。	地域づくり	意見	Cグループ(第1回)	企画調整課	総務
55	団塊の世代の人が、魅力があってまちづくりに参加しようとか、酒田の街が良いというような街が良い。	地域づくり	意見	Cグループ(第1回)	企画調整課	総務
56	それには屋台村などもよいと思う。大学生はお金がないので軽く一杯やれるような整備も必要だ。	中心市街地活性化	意見	Bグループ(第2回)	企画調整課	総務
57	飛島の振興を図らなければならない。現在、人口300人、平均年齢65歳だが、このままでは人が住まなくなる。別荘地の分譲やヨットハーバーをつくるなどの思い切った方策が必要だ。トビウオのだけは全国一味がよいとテレビで放送していたが、売り込む方法を考えるべき。全国に発信するシステムが必要だ。	飛島振興	意見	Bグループ(第2回)	企画調整課	総務
58	大学も病院と同じでまちづくりの基幹となる。公文大が開学して、5年から6年になる。地元はどうやって定着させるかがこれからの勝負。つまり、他から来た人がどういうところに就職したかが、進学するときは気になる。市や地域が応援して金になる木ではないが、すごく就職先を応援するとか、公共経済学というすごく良い分野をやっているのだから、地域に残ってもらって活躍してもらえれば、10年、20年先に生きてくると思う。そういったところに敏感になって補助などすべきである。	大学まちづくり	意見	Cグループ(第1回)	企画調整課	総務
59	大学のまちづくり、公益文科大学は大丈夫かという心配をしている。大学運営がうまくいかなかったからと言って税金を投入するのは反対である。人気ある大学は受験者数が増える。減っているということは、教授が何と言おうと世間は評価をしていないということだ。協力は良いと思う。	大学まちづくり	意見	Cグループ(第1回)	企画調整課	総務

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
60	中山間地域の振興で、合併する前、前町長に中山間地域にシンクタンク施設をお願いした。車のおけないようなところに間借りするよりも良い環境がある。若い人たちや知恵を持った老人で具体的な議論をすべきである。商品開発も含めて、支援体制などがネックになっている。人は住みやすいから市街地に移り住む。商品開発などという余裕はない。やるにしても、その場所に居て、具体的な話をして、いろいろな意見が出て具体的なものにするというような形にしていくべきだ。そういう場所を中山間地へ持ってきてもらいたい。中山間地の自然環境だけでなく、なぜ出て行くのか、何に苦労しているのかを現場に入って議論し検証すべきである。	中山間地域振興	意見	Cグループ(第1回)	企画調整課	総務
61	自治会活動などでは若い人をどう取り込むかが一番の課題である。役員についても高齢化が目立っている。	コミュニティの振興	意見	Bグループ(第2回)	まちづくり推進課	総務
62	町内会どうしの合併ということを行政主導で考えて欲しい。	コミュニティの振興	意見	Bグループ(第2回)	まちづくり推進課	総務
63	高齢者などの弱い人がいたり、若い人がいたり、いろいろな人がいる街は、コミュニケーションが取れて、お互いがお互いを理解しあえて、助けるところは助けるし、助けられるところは助けられる、そういった街が喜ばれると思う。そういった街であれば、他の地域からも来たいと思うのではないか。市民が協力できる仕組みを作ってやれば、コストが安くできる可能性がある。	コミュニティの振興	意見	Cグループ(第1回)	まちづくり推進課	総務
64	コミュニティの振興で、PTAがリーダー育成すると自治会の役員になる。JC、建築士会の役員もそうであるが、昔は青年団というものがあった、青年団で仕込まれ、やらなければならぬと言われてながらやらされてきた。今はそれが無い。地縁や血縁に頼るところのコミュニティもあれば、まったくないところもあるので、地域のリーダーを育成することが自治会離れをストップさせる。さまざまな自治会活動の充実につながっていくと感じている。	コミュニティの振興	意見	Cグループ(第1回)	まちづくり推進課	総務
65	団塊の世代が退職される。団塊の世代が酒田へ帰ってきて、まちづくりにお手伝いをいただくことに期待している。今の自治会では高齢化が進行している。名誉職として良い意味で頑張っている人もいる。本当の意味で人材がいなくて、変わりにやっていただけの人が見つからないという自治会もある。いずれにせよ高齢化している。10年、20年後のまちづくりを考えたとき、今から真剣に取り組まないといけ無い。	コミュニティの振興	意見	Cグループ(第1回)	まちづくり推進課	総務
66	若い層の人で自治会に入らない人がいると聞いたことがある。それでは協力体制が行き届かないし、高齢者を助けてもらわなければならない若い人達にそっぽを向かれては困る。	コミュニティの振興	意見	Cグループ(第2回)	まちづくり推進課	総務
67	小学生がいると子供会があるのでほとんどの方が自治会に入っている。子供のいない若い家庭は、アパートも含めて入っていない方が結構いるそうである。地区の運動会などのイベントも含めて、そういった方にも声をかけて、引っ張っていくような体制を自治会でやっていくべきだと考えている。	コミュニティの振興	意見	Cグループ(第2回)	まちづくり推進課	総務
68	まちづくりは人づくり。人づくりを最初に持ってきたのは良い組立てだと思う。しかし、人づくりイコール教育という感じを受ける。人づくりは、人と人の絆を作ることが人づくりである。具体的には自治体活動を活性化することに繋がる。隣組、向こう三軒両隣の付き合いを密にすることからはじまる。実際にやれるところからやる。自治会と行政が腹を割った話し合いを行い、各自治会を通じて、人と人のつながりを取り戻すことが大事である。災害が起きたとき、助けたり助けられたりすると思う。人と人のきずなを築いていくことが決め手となる。	コミュニティの振興	意見	Cグループ(第3回)	まちづくり推進課	総務

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
69	あまりに広報や情報誌の配布が多すぎるのではないかと。ほとんどが読まれずにごみとなる。市広報、コミ振報、社協、日赤、県広報、県議会報、市議会報など13から15紙くらいあるのではないかと。内容のだぶりもある。全国を渡り歩いた経験があるが、これだけ多い所はない。山形新聞に広告料を支払うなどして活用するなど工夫してもっと効率的に出来ないのか。自治会の役員をしているが配るだけで大変だ。	市民活動	意見	Aグループ(第2回)	まちづくり推進課	総務
70	ボランティア活動の団体数をもっと増やす必要がある。そのためには、行政のバックアップが是非必要となる。	市民活動	意見	Dグループ(第2回)	まちづくり推進課	総務
71	自治会活動の活性化について市町村合併の効果を高め市民の一体感を早く醸成させるため、旧市2つ旧3町3つの自治会連合会組織の一本化を進める必要がある。そのために、自治会連合会のあり方を議論することが最優先されるべきであり、補助金や運営方式の一本化の議論をしてしまうと話が進まなくなる。	市民活動	意見	Dグループ(第2回)	まちづくり推進課	総務
72	NPO法人ニールームのことが新聞に取り上げられていた。いろんな活動をしている方をスポット的に取り上げて紹介することも必要だと思う。	市民活動支援	意見	Bグループ(第1回)	まちづくり推進課	総務
73	市民相談がサントウンに移ったが、建物も斬新で子どもたちが多く集まり人の賑わいがある。子どもたちの遊ぶ姿が見られる。ただオープンであることの良さもある反面、オープンであることの欠点もある。その例として相談の内容が筒抜けだということを知った。また、パソコンの画面が市民側に向いているので、画面が丸見えだとも聞いた。個人情報に関しては、あまりにも規制が厳しくやりにくいという話もあったが、プライバシーを守るところはきちんと守ることを考えてほしい。	市民相談	要望	Cグループ(第3回)	まちづくり推進課	総務
74	少子化が話題となっているが、出会いの場を増やす必要がある。旧4町地域では、役場の紹介で知り合ったケースもあったらしい。取り持つのがうまい人がいるので、イベントなどを検討してもらいたい。	少子化対策	意見	Bグループ(第1回)	まちづくり推進課	総務
75	若い人たちのつながりが薄いような気がする。特に、旧酒田市地域が旧3町地域と比較すると薄い。	まちづくりの推進	意見	Bグループ(第1回)	まちづくり推進課	総務
76	夜間に郡部の道路を車で走ると集落名が分からなくなってしまうので、入り口にある看板をライトアップしてもらいたい。	まちづくりの推進	意見	Dグループ(第2回)	まちづくり推進課	総務
77	歩いて住めるまちでないと思うので歩いて住めるまちづくりをするなど、自分の住んでいる街をどうするかを考えないと思う。自分の住んでいる地域を好きだという街にしなければ、自主防災もそうだし、住みよい街なんて出てこないし、協力者も出てこない。地に足のついたようなまちづくりもだんだん話し合いしていかなければならないと思う。	まちづくりの推進	意見	Cグループ(第2回)	まちづくり推進課	総務
78	男女共同参画については、推進委員として活動を行い、推進ビジョン案を市長に提出した。行政では具体的な行動計画の策定に向けて、職場と家庭と地域(自治会)に分けて議論した。酒田市が先進的に進めたものだが8年以上経過したが進展がない。たいへん残念である。	男女共同参画	意見	Cグループ(第3回)	まちづくり推進課	総務

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
79	世帯平均人員が2.85で驚きだった。なぜ、このようになったかを分析してもらいたい。(独居、2人の年齢分布など)	人口減対策	意見	Bグループ(第1回)	情報企画課	総務
80	コミュニティ組織のことだが、資料には、「3総合支所地域の公民館運営協議会を自主的な組織であるコミュニティ振興会へ発展的に移行して、地域住民による自主活動を推進する必要がある。」と記載しているが、これは全く逆だ。すでに住民主体で活動している。すべてをコミュニティ振興会化にするというのは表現的に正しくないのでは。酒田のコミュニティ組織と連携を図りながら特色ある地域づくりを進めると表現を変えるべきではないか。地域づくり懇談会では市長もそれでよいと言っていた。	コミュニティの振興	意見	Aグループ(第1回)	生涯学習課	総務
81	新市としてのまちづくりが大事だと思う。合併協議でも年数をかけて調整する項目もある。3町を含めたまちづくりをどうするか。コミセンは旧酒田市には学区単位であったが、旧3町にはなかった。それをどうするか。旧市の良いところをとって数年間でやろうとかを取り決めた。まちづくりは、人づくりをしないといけない。	コミュニティの振興	意見	Cグループ(第1回)	生涯学習課	総務
82	コミュニティ振興会があるが、自治会や学区の活動と統制がとれていないように感じる。同じ人が何約も請け負っている状況があるので、横の連絡がうまく行くように調整してもらいたい。学区として全体で行うのは運動会だけだが、人が足りないという状況も見られる。少子化で、小学生が5人しかいない学区があれば、60人もいる学区もある。他と一緒にやるなどの方法も考えて欲しい。	コミュニティの振興	意見	Bグループ(第2回)	生涯学習課	総務
83	遊佐町では、地域コミュニティ活動をスムーズに行なえるよう社会教育指導主事が地域に配置されて、地域力・地域防災を担う人材として活躍しているようだ。	コミュニティの振興	意見	Dグループ(第2回)	生涯学習課	総務
84	世代間をはじめいろんな交流が必要である。酒田市は、北区と武蔵野市と交流しているが、東京の良いところは学ぶべきである。東京は、全国から集まっていることもあり、コミュニティでうまく交流し、情報交換をしている。	コミュニティの振興	意見	Bグループ(第1回)	生涯学習課	総務
85	センター機能に対する姿勢、柔軟な視点で取り組むことは大切だと思う。様々なセンター施設、拠点施設がある。コミュニティの再生が言われ、地域づくりはまちづくり、まちづくりは人づくりと言われている。1学区1コミセンということで進めているが、学区をまたがって使っているコミセンもある。コミセンに配置している職員も留守番ということではなく、社会教育の場面、コミュニティ活性化のための相談とか、支援などができる職員を置くことが必要ではないか。	コミュニティの振興	意見	Cグループ(第3回)	生涯学習課	総務
86	コミュニティの振興についてだが、コミセンは旧町には無かった。旧町の取り組みを意識して進めて、旧酒田市のスタイルに4、5年かけて合わせるべきである。	コミュニティの振興	意見	Cグループ(第3回)	生涯学習課	総務
87	酒田市のシステムは、市街地が地域コミュニティ、公民館地区が地域コミュニティと公民館の二枚看板となっている。公民館は、社会教育活動として公の部門を担い、地域コミュニティは社会教育も含め地域振興全般を担い自主的活動を行なっているものである。市は、公民館を廃止して地域コミュニティに移行したいとの考え方から、平成14年に、地区公民館あり方検討委員会に諮問し答申を受けている。その内容は、公民館からコミュニティ組織への移行、公民館主事引き上げに対する支援、教育委員会から市長部局への移行などの内容となっている。これらを受け、早急に移行すべきであり、総合計画にも織り込むべきものである。	コミュニティの振興	意見	Dグループ(第2回)	生涯学習課	総務

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
88	コミュニティセンターの無い地域もあるので、ハード整備も急ぐ必要がある。	コミュニティの振興	意見	Dグループ(第2回)	生涯学習課	総務
89	コミュニティ組織の活性化 各地区のコミュニティ組織への完全移行が遅くなっているため組織の活性化が進まない。地区公民館のあり方検討委員会の答申を完全実施しなければならない。 コミュニティ組織の事務局長は、単なる役員の交代では事業活動が推進しない。団塊の世代などリタイヤ組みを活用することによって経費削減しながら事務局長の専従化に努めなければならない。	コミュニティの振興	意見	Dグループ(第2回)	生涯学習課	総務
90	公民館からコミセン体制への早期転換してほしい。公民館主事を引き上げる際に職員のやり場がないという議論は要員管理上最も悪い発想であり、やることをやってから要員のことを考えるべきだと思うので、早くやってほしい。コミセン体制は、市長部局で担当すべき。	コミュニティの振興	意見	Dグループ(第3回)	生涯学習課	総務
91	安全安心のまちづくりが大切だ。消防庁舎の改築は必要だが、合わせて1市6町地域にある分署庁舎の統合も含めた改築計画にするべきだ。庄内町にはひとつ、平田・松山にひとつでもいいのではないか。道路改良も進んでいるので可能だ。なるべく早く新庁舎の建築と機器の充実整備を図るべきだ。	防災対策	意見	Aグループ(第2回)	消防総務課	総務
92	県外に行くと酒田と言えば酒田大火と言われる。老朽化した消防庁舎を新築移転し新たな防災の拠点として学習施設なども併設し全国にPRできるような施設として整備すべきだ。跡地は、夢の倶楽の駐車場として利用できる。	防災対策	意見	Aグループ(第2回)	消防総務課	総務
93	少子化に何とか歯止めをかける施策を10年間かけてやって、酒田市が全国一だといわれるようにしたい。金額的支援だけでは、子どもは産めないと思う。市民あけて妊婦さんをみたら敬礼をすとか、そういった精神的に優越感を与えられるような対策を立てることも必要ではないか。	少子化対策	意見	Bグループ(第1回)	企画調整課	民生
94	自然環境の保護は、住んでいる市民ひとり一人が自らの自然環境を知ることが大切だしその環境を楽しむようにしたい。知らないとい何を守るのかわからない。例えば新しい酒田市になって、チョウカイフスマ、チョウカイアザミといった世界でもここにしかないものがある。氷河紀が来たら最初に氷河になるであろう氷河地形である貝殻雪渓もある。みんなが自然環境に誇りを持ち自ら守っていけるような仕組みづくりが必要だ。	環境保全	意見	Aグループ(第2回)	環境衛生課	民生
95	新井田川の汚れが気になる。生活排水について市民の意識向上を図るなど海、川の環境についてもっと考えるべきだ。	環境保全	意見	Aグループ(第2回)	環境衛生課	民生
96	ダイオキシンの関係の標記が一切ない。	環境保全	意見	Cグループ(第2回)	環境衛生課	民生
97	ごみの減量、リサイクルの推進は、学校教育が重要だ。もっともっと推進すべきだ。環境保全では、グリーン購入を推進すべきだ。	ごみ対策	意見	Aグループ(第2回)	環境衛生課	民生
98	ごみの減量化やリサイクルについては学校教育の場で教えるべきだ。新しく最終処分場が必要になると最近では反対があり大変だ。	ごみ対策	意見	Aグループ(第2回)	環境衛生課	民生

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
99	酒田では早くからレジ袋ごみを減らすため、買い物袋モテモテ運動を行ってきたが、いつも間にか戻すばみ気味だ。小中学校などの教育機関でも強力に進めるべきだ。ごみ処理施設を見学して、初めて、その大変さがわかったと言う人がいた。各自治会長に呼びかけるなどして市民から施設見学をしてもらったらごみ処理への理解が進むのではないかな。	ごみ対策	意見	Aグループ(第2回)	環境衛生課	民生
100	可燃ごみの袋に、色を付けたらどうか。黄色であれば中身はガラスから見えないので破られない。個人情報保護もある。中身が見えないと、ごみ処理場危険なら中間的な色の濃さにすればよい。ごみステーションは、景観上、野ざらしではなく、囲いや扉のあるものにするべきだ。ごみの減量化のためには、レジ袋を使わない運動を推進すべきだ。	ごみ対策	意見	Aグループ(第2回)	環境衛生課	民生
101	商店街としてノーレジ袋運動に取り組んだが、もう少し市全体で力を入れるべきではないか。ごみ処理炉が新しくなり、何でも燃やせるようになったためごみが減らないような気がする。	ごみ対策	意見	Aグループ(第2回)	環境衛生課	民生
102	ごみ処理については、マナーの向上が必要だ。みずほのごみステーションには、他の地区の人が指定日以外にごみを置いていくので迷惑している。	ごみ対策	要望	Aグループ(第2回)	環境衛生課	民生
103	ゴミ減量ということで、中身をもっともっと減らしていきたい。	ごみ対策	意見	Cグループ(第2回)	環境衛生課	民生
104	粗大ゴミを集める業務の民間委託が検討されているようだが、業務に携わるものだけでなく、ゴミ問題については自治会を通して学校やいろいろな立場の関係機関に説明し、理解していただき、無駄のないお金のかからないようにしてもらいたい。	ごみ対策	意見	Cグループ(第2回)	環境衛生課	民生
105	海岸とか山の不法投棄について、市民レベルでのパトロールを強化したり、条例をもっと強化したりするとか、小さい看板しかついていないので看板を増やす等、もう少し強化できないものか。自分達もパトロールする一人なんだというようなステッカーを作って、貼ることによって注意しやすくなると思う。	ごみ対策	意見	Cグループ(第2回)	環境衛生課	民生
106	ごみ捨てをしないように黄色いティーシャツを着て巡回活動をしているが、土日の釣り客のごみがすごい。ごみゼロ作戦をもっとPRしてほしい。県、市が主催のときに積極的にやるが、別のところでは目を向けられないようだ。市からも参加してほしい。	ごみ対策	意見	Dグループ(第1回)	環境衛生課	民生
107	ごみの減量化の推進 ゴミ問題は自分自身の問題であるということの意識の啓発活動を行い、新ごみ処理基本計画を推進すべき。資源ごみの回収が進まないとごみの有料化に向かう懸念がある。一人ひとりが自身の問題ととらえ、地球温暖化対策への参加意識を持たなければならない。そのためには、親子の活動が大切である。農産物に係る廃棄物処理は有料であるべき。	ごみ対策	意見	Dグループ(第2回)	環境衛生課	民生
108	出産費用は、34万から35万円くらいになる。後日健康保険から交付されるのだが、最初に自己負担で支払う必要がある。旧余目町では妊娠安定期になると出産費用が交付される制度があると聞いている。何も心配なく出産が出来る。酒田市でも取り入れてほしい。	国民健康保険	要望	Aグループ(第1回)	国保年金課	民生

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
109	老人クラブへの加入者数が減っている。これは強制的に加入させたり、内部でねたみや恨みがあるなど問題があったのではないか。もっと自由加入を推進すべきだ。また、飲み食い、観光だけでなく、ボランティア活動など地域に還元する活動をすべきではないか。そういうシステムをつくるべきだ。	高齢者福祉	意見	Aグループ(第1回)	高齢福祉課	民生
110	介護保険制度が改定された。保険料が高いと感じる。65歳から特別徴収されがっばり引かれている。保険料は、一定期間(たとえば、20年とか30年)納付すれば制度を利用しない人については保険料を割安にすべきではないか。利用する人は逆に少し割高にしてもいいのではないか。そうすればお互いに少し考えるようになるのではないか。	高齢者福祉	意見	Aグループ(第1回)	高齢福祉課	民生
111	高齢者が自宅に引きこもってしまうため、認知症になってしまう。高齢者のやりがい作りを行なうことが大切である。	高齢者福祉	意見	Dグループ(第2回)	高齢福祉課	民生
112	飛鳥の高齢化が加速的に進んでいる。高齢福祉対策の実証フィールドとしてはどうか。	高齢者福祉	意見	Dグループ(第2回)	高齢福祉課	民生
113	老人世帯では、今年ような大雪では家の周りの除雪に対応しきれない。支援していく施策が必要となる。	高齢者福祉	意見	Dグループ(第2回)	高齢福祉課	民生
114	介護保健サービスメニューにある「やさしい生活支援」をもっとPRしていく必要がある。	高齢者福祉	意見	Dグループ(第2回)	高齢福祉課	民生
115	高齢者福祉推進体制を充実させるため、老人クラブの崩壊減少に対する行政施策は、自治会単位の活動が原点であるが広域的事業については対応に限界がある。活動はコミュニティセンターを中心に行うべき。大きなイベントは別として、細かな組織で活動を行う必要がある。	高齢者福祉	意見	Dグループ(第2回)	高齢福祉課	民生
116	雪対策については、除雪ボランティアによる委嘱体制を確立し、民生児童委員や自治会長、学区内の社会福祉協議会のメンバーによる地域の協力体制作りが必要となる。	除雪対策	意見	Dグループ(第2回)	高齢福祉課	民生
117	要支援1ということで、週1回デイサービスに行っている。高齢者うつということで10年ほど通っている。高齢者うつの方が酒田も多いと聞いている。向かいの家の人が保健婦のOBで、この方がいろいろなアドバイスをしてくれる。地域には看護婦や保健婦のOBがたくさんいる。こういう方々を地域保健サポーターとして協力いただき、地域福祉の充実、高齢者福祉の充実、若い人も高齢うつに対して手助けができる可能性があるのではないか。	高齢者福祉	意見	Cグループ(第1回)	高齢福祉課	民生
118	高齢者の負担が増えてきた。医療費も含めてたいへんだと聞く。その辺をよく考えるべきである。	高齢者福祉	意見	Cグループ(第3回)	高齢福祉課	民生
119	地域に開放する施設が多くあるが、これらがもっとバリアフリーになればよい。観光施設なども増えているが、廻りの設備なども整えてバリアフリー化を望む。	障害者福祉	意見	Aグループ(第1回)	福祉課	民生

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
120	施設は、いろいろな人が使う前提で整備すべきだ。	障害者福祉	意見	Aグループ(第1回)	福祉課	民生
121	障害者の働き場所の確保が必要だ。通所授産施設の整備を官民掲げて実現すべきだ、また企業など民間の知恵も入れて先進的な内容にすべきだ。	障害者福祉	意見	Aグループ(第1回)	福祉課	民生
122	福祉に関して、酒田と鶴岡を比較すると鶴岡の方が進んでいるという話を聞くが、実際何が違うのか分析する必要がある。	地域福祉	意見	Bグループ(第1回)	福祉課	民生
123	大学でよさこいソーランサークルをやっているが、多くの福祉施設があるのに意外に公演依頼が少ない。イベント実施の福祉施設の職員の負担が大きいかからではないか。人材を充実する必要があると思う。	地域福祉	意見	Bグループ(第1回)	福祉課	民生
124	地域の福祉活動を行政が処理できないので、社会福祉協議会で草の根ネットワークを作って成果があった。他地域との連携をきちんと進めていただきたい。	地域福祉	意見	Cグループ(第1回)	福祉課	民生
125	自然体験など親子で参加する諸行事は、ほとんど鶴岡市で行われている。酒田市でももう少しみんなで子どもを育てる姿勢がほしい。	子育て支援	意見	Aグループ(第1回)	児童課	民生
126	旧酒田市では法人化保育園が多くそこで学童保育も行っているようだ。旧3町地域にも学童保育を取り入れてほしい。	子育て支援	要望	Aグループ(第1回)	児童課	民生
127	ファミリーサポートセンターなどがあるが、旧3町地域にないのであれば、合併したので、各地域に広める必要があるのでは。	子育て支援	意見	Bグループ(第1回)	児童課	民生
128	3人目の子供が生まれる予定だが、自営でも会社員でも生活が苦しいことは変わらない。生んでいいかなと思えるような行政サービスの充実をしてほしい。他では3人目で100万円もらえるところもある。そこまでしてくれてとは言わないが、せめて子供が成人するまでは税金を軽減するとか免除するとかしてほしい。極端な話をすると子どもを生まない人の分受け持つということにもなり、その子供が次のコミュニティや社会を担っていくのだから、子供を生む事に対する先行投資をしてほしい。	子育て支援	意見	Dグループ(第1回)	児童課	民生
129	総合計画が10年後のまちづくり計画ということであれば、子供たちに視点をあてて行かなければならない。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	児童課	民生
130	地域コミュニティの再構築のためにはハード整備と一緒に子育て支援などのソフトの充実が必要となる。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	児童課	民生
131	冬の遊び場として全天候型の砂場が必要との声も聞こえてくる。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	児童課	民生

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
132	中町の交流ひろばにあるトランポリンの利用状況を見ると、大きい子供と小さな子供と一緒に遊んでいることから、とても危険な状況にある。年代分けや注意喚起が必要と思う。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	児童課	民生
133	子育て支援対策として、中心市街地の空き店舗を活用した保育所を作ってはどうか。中央官庁などでも職員のための保育所を施設の中に作っているなど、市民にとって預けやすい環境、子供を産むことができる環境づくりが大切である。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	児童課	民生
134	若い人たちの子育てを支援していきたい。交流ひろばは、子育てをする世代にとって非常に良い施設である。先ほどの意見にあったトランポリン等の問題は、小さい子供用のスペースが2階にあるように、もっと親が目配せすることによって回避できると思う。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	児童課	民生
135	子育て支援センターとファミリーサポートセンターの職員が無資格のため、安心して子供を預けることができない。一時的に子供を預けることのできる施設が欲しい。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	児童課	民生
136	ファミリーサポートセンターは、孫の面倒を見ているおばあちゃんがさらに他の子供の面倒を見る制度であって、そのような施設がもっと必要となる。ファミリーサポートセンターの出前版のようなものが必要だ。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	児童課	民生
137	公共による保育が安心で民間が不安というのは日本的な考え方であって、本当にそうなのであろうか。預かる側と預ける側の相互の信頼関係が図れる施設・体制作りが大切である。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	児童課	民生
138	学童保育について、部屋がたいへん狭いと感じる。家庭の延長でなければならないはずなのに、狭いところに押し込められて子どもたちが自由にできない。そういったところにも支援をお願いしたい。	児童福祉	意見	Cグループ(第1回)	児童課	民生
139	子育て支援で交流ひろばに遊び場ができた。利用者が多いのは良いのであるが、小さい子、大きい子が遊びの程度が違っているため危なく、思いっきり遊べないものができたと感じている。「交流ひろば」ができる2年前に児童課へ行って、どういう遊具が入るのかと聞いた時、担当者の方から決める段階でお母さんたちの意見を聞くといっていたが、お母さんを集めることもなかった。市のつくる施設はとても半端なので、お母さんたちの意見をもっと吸い上げていただきたい。	児童福祉	意見	Cグループ(第1回)	児童課	民生
140	「交流ひろば」には意見ボックスはないのか。意見を取り上げるものを用意して意見を聞くことは施設を設置する側としては当たり前のことだ。	児童福祉	要望	Cグループ(第1回)	児童課	民生
141	喫煙者のマナーが良くない。屋外での喫煙を禁止することで観光客にも好印象を与えると思う。	喫煙対策	意見	Dグループ(第2回)	健康課	民生
142	NPOで健康づくりの指導をしている。少子高齢化の流れは避けられない。これからは高齢者も普通に不自由なく暮らしていければ大きな問題にならないと思う。その意味でもまちづくりを支える健康づくりに力を入れたいと考えている。高齢社会になればまた便利な街として中町が生き返るのではないかと考える。	健康づくり	意見	Aグループ(第1回)	健康課	民生

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
143	健康づくりの指導を行っていて酒田市の各課からそれぞれ指導の依頼が来るが、意図がどこにあるのかが分からないことがある。賃金や謝金もバラバラなので戸惑うことがある。同じ内容の指導で同じ市役所からの依頼なのに統一できないものか。	健康づくり	意見	Aグループ(第2回)	健康課	民生
144	健康診断のPRをもっと考える必要がある。広報に1回載せただけで申し込みといわれても中々難しいのではないか。	健康づくり	意見	Bグループ(第1回)	健康課	民生
145	前日食事に行った際、煙草を吸われて不快な思いをした。飲食店団体等で、ランチタイムの時間帯だけでも禁煙の取り組みができないか。	健康づくり	意見	Bグループ(第1回)	健康課	民生
146	禁煙対策として、期間を区切ってやってみることも必要だと思う。例えば、禁煙週間や禁煙時間を機会としてやってみることもよいのではないか。	健康づくり	意見	Bグループ(第1回)	健康課	民生
147	がん対策の現状を見ると、県内の平均を大きく下回っている。自分自身も会社の基本検診は受診しているものの、大腸がん検診を受けたことがない。受診することについての不安もあるわけで、そういった不安を解消することのできるような啓発活動の重要性を感じる。	健康づくり	意見	Dグループ(第2回)	健康課	民生
148	集団検診率が高いが個別検診を受けることがないのだと思う。市民の自覚を促し、自ら受診するようにしていかなければならない。	健康づくり	意見	Dグループ(第2回)	健康課	民生
149	鶴岡市と大きく違うのは、受診する医療施設の違いがあるのかもしれない。	健康づくり	意見	Dグループ(第2回)	健康課	民生
150	総合病院と「ホームドクター」といった意識付けが大切な視点である。	健康づくり	意見	Dグループ(第2回)	健康課	民生
151	自分も40代になってから人間ドッグに入るようになった。マンモグラフィによる乳がん検査が無料となっているので受診するといった個人の意識付けが重要である。	健康づくり	意見	Dグループ(第2回)	健康課	民生
152	保健師にもお願いしていることであるが、妊婦の出産後をケアする制度の確立と充実をお願いしたい。	子育て支援	意見	Dグループ(第2回)	健康課	民生
153	自殺率は、山形県は全国でも高いし、酒田市は県内でも高いはずだ。私も酒田でも知っている人の自殺をかなり見てきている。命の電話への行政支援など、自殺防止対策が必要だ。	保健体制	意見	Aグループ(第1回)	健康課	民生
154	光ヶ丘公園の足湯を利用しているが、もう少し増やしていただきたい。身近な別の場所に設置してほしい。	保健体制	要望	Cグループ(第1回)	健康課	民生

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
155	健康診断の拡大について、何でもない人がバリウムを飲み健診を受ける。これが医療費の軽減につながっているのか。疑問視する人々もいる。最近、年をめされた方のメタボリック症候群が話題になり、この生活習慣病を改善するのにお金がかかるのでやめた方がよいという方がいるようである。常識からはずれた言い方もかもしれないが、要精査で行ったら、なんでもなかったということが結構ある。拡大が本当に必要なのか。病院の充実とリンクさせて考えていく必要があるのではないか。	保健体制	意見	Cグループ(第1回)	健康課	民生
156	酒田市立病院と県立日本海病院の統合が話題となっているが、地方独立行政法人となることによって、この地域の医療がどう変わるか。医師、設備など充実していかなければならないことも多いと考えているが、情報がないのでぜひ内容をお知らせしてもらいたい。	医療体制	要望	Bグループ(第1回)	病院管理課	民生
157	最近、市立酒田病院と県立日本海病院が統合し独立行政法人になると話題になっている。外来患者数は平成13年度から17年度にかけて減る傾向にあるようだ。二つの病院がまとまった場合は、循環器とか脳外科ならここが専門だという安心できる分野がある特色をもった病院にしてほしい。	医療体制	意見	Aグループ(第1回)	病院管理課	民生
158	1市3町合併したので市立病院は大規模な病院に改築して欲しい。内容も終末医療を取り入れるなど変えてほしい。	医療体制	意見	Aグループ(第1回)	病院管理課	民生
159	日本海病院だ、市立病院だなどと区分けしないで、また開業医も加えて、酒田地域を一つの医療地域、一体の医療施設と考えるべきだ。効率的な高度医療機器の整備や病状に応じた適切な受診機関の提供など壁を無くして経営の一体化ができないか検討すべきだ。	医療体制	意見	Aグループ(第1回)	病院管理課	民生
160	酒田は高齢化が進んでおり、病院がこれから重要な役割を担うことは間違いない。病院は医療、福祉とかボランティア的なイメージであり実際間違いなくそうである。考え方として東京の築地にある病院では、病院の周りにレジデンスがあったり、コンビニがあったり、産業として1つの街ができています。病院はとかく市の財政を圧迫するとか、病院が儲かることが悪のように思われるかもしれないが、病院が儲かれば、良い医者が来て、良い機材が来て看護婦も増える。そういう良い面もあるので、儲けることを嫌がる時代ではない。病院の中にコンビニエンスストアとかDVDのレンタルとか、住居地域を貸し出すとか、そこから市が賃貸料をもらうとか、安定した収益として支えにすれば、決して負担になるような分野ではない。最後は患者に受益が来ると思うので、都会はそういうことでうまくやっている。	医療体制	意見	Cグループ(第1回)	病院管理課	民生
161	市立病院、県立病院と1つになるという話がある。市民レベルではわからない。2つを1つにした場合のメリット、デメリット、2つをそのままにした方がよいという場合もあるだろう。市民の言うことを聞かず、市議会レベルで討議して、どちらかに持っていこうとしている。10年先、20年先を考えたとき、1つになるか、2つでいくかは、市民にとってたいへん大きな問題である。アンケートでも良いと思うが、役員や市議会だけで決めるのではなく、お金がかかるような大きな問題は、特に10年後失敗したら困る。このような大きな問題は市民の意見を聞いてほしい。	医療体制	意見	Cグループ(第1回)	病院管理課	民生

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
162	市広報と市議会だよりを見ているが市立病院の問題がこれからどうなるのかが見えない。この市立病院は外から見ると古い、内から見ると充実している。今の市立病院を潰して1つにするのかなと考えると、合併して広くなったのに1つになるとすれば病院が混雑して待たされることになる。統合問題は時間をかけて議論していくべきであり、市民の意見を聞く場を設けてほしい。10年先を考えた時、お金をかけるべきところはお金をかけるべきである。	医療体制	意見	Cグループ(第1回)	病院管理課	民生
163	1つより2つあった方がよい。酒田病院は酒田病院の良さがあるし、県立病院は県立病院の良さがある。今までどおり2つで向かうべきである。奥が深い問題なので時間をかけて議論すべきである。	医療体制	意見	Cグループ(第1回)	病院管理課	民生
164	病院など大きな問題については議会制民主主義ということでルールになっている。これはある意味では議会議員の活動範囲の中に市民の意見を聞くということも入る。直接執行部に具申するのもいいが、議会議員を通した形でやる方法もある。	医療体制	意見	Cグループ(第1回)	病院管理課	民生
165	市立病院と県立病院の統合には問題がある。選択肢を広げる上でも統合しないで欲しい。南庄内は、共立病院と荘内病院の選択肢があるのに一つになってしまうと選ぶことができない。市立病院は黒字経営であるし、市民との信頼関係も上手くいっている。県立病院と統合して独立行政法人という話もあるが、市民は、民間より公立を望んでいる。生々しい話であるが、人員整理された職員の雇用の場が失われてしまうことも考えられる。	医療体制	意見	Dグループ(第2回)	病院管理課	民生
166	定年になってから病院によく足を運ぶようになった。特に、月曜日の診療待ちは、1時間から2時間とになってしまう。医師不足は仕方がないが、待ち時間の短縮や診察の進行状況の説明があると安心できる。	医療体制	意見	Dグループ(第2回)	病院管理課	民生
167	いろいろの意見があってもいい訳であるが、一般会計からの繰出し(平成17年度決算ベース9.1億円)があり市立病院の経営が成り立っているため、黒字経営であるというのは錯覚である。また、新築するとすると200億円から300億円の費用がかかるため、直ぐに赤字経営とになってしまう。これは全て市民負担とになってしまう。市民側の医療に対する意識も、町医者や総合病院の使い分けなど勉強していかなければならない。自分としては、医師を選択することができないということもあるが、統合し救急医療体制の確立を目指すべきだと考える。	医療体制	意見	Dグループ(第2回)	病院管理課	民生
168	一つの病院より二つの病院という意味ではない。経営が厳しいのも理解しているつもりである。	医療体制	意見	Dグループ(第2回)	病院管理課	民生
169	市立病院と日本海病院の統合を促進してほしい。人口規模と改築した場合の金利負担や償却を考えると持ちこたえられないと思う。	医療体制	意見	Dグループ(第3回)	病院管理課	民生
170	酒田市立病院と県立日本海病院の患者に接するホスピタリティが大きく違う。(酒田病院が高い)	医療体制	意見	Bグループ(第1回)	病院管理課	民生
171	新幹線が延伸すると駅前整備が進むが、山形のように庄内空港の利用者が減少が懸念される。両立は大きな課題だと思う。	交通基盤	意見	Dグループ(第3回)	企画調整課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
172	駅を改築し駅東へ道路を通すと市長が言ったことがある。大変いいことだが新幹線対応の駅舎と言うことで可能になるものだ。山形新幹線が羽越本線の高速化か、そろそろどちらかはっきりすべきだ。福島に行くのに東北地方の中で酒田からが一番時間がかかる。青森、岩手は新幹線と高速道路がある。9月にソフトラレーのイベントを酒田でやることにしたが、青森県からは、交通の便が悪く宿泊を伴わざるを得ないのでキャンセルされてしまった。	交通基盤	意見	Aグループ(第2回)	企画調整課	産業
173	新幹線の延伸はあまり急ぐべきではないと考える。駅前開発と一緒にいい。空港の充実の方が先だ。	交通基盤	意見	Aグループ(第3回)	企画調整課	産業
174	新幹線は、もはや「いる」「いない」の議論のレベルではない。必ず必要だ。酒田の活性化の起爆剤となるものだ。費用対効果は、1.4と数字が出ており間違いなく効果はある。市の決断一つだ。山形新幹線の延伸でいくべきだ。そうすれば駅前には民間で自動的に開発される。	交通基盤	意見	Aグループ(第3回)	企画調整課	産業
175	駅前の活性化が何十年経っても進まない。賑わいをつくるには新幹線が来ないとだめだと思う。新庄を見て以前と変わった。陳情団を作り理論武装して実現するまで県に要望してもらいたい。	交通基盤	意見	Bグループ(第2回)	企画調整課	産業
176	市役所の正面に山形新幹線の看板が掲げられてずいぶん立つが、延伸できるようなムードもある。飛行機利用者の9割はビジネスマン、山形新幹線の乗客の6割が観光客であるというデータもある。新幹線が山形県を縦断すればより多くの観光客を引き寄せることができる。	交通基盤	意見	Cグループ(第3回)	企画調整課	産業
177	山形新幹線は、何で新庄経由にこだわるかわからない。時間短縮は9分で事業費は350億円。羽越本線を推進してほしい。一番の問題点は、鶴岡を考えていないということである。行政上、鶴岡と酒田は分かれているが一体である。新庄延伸は350億円かけて9分。時計を持っていなかったらわからない。山形新幹線のメリットはない。もう一回議論してほしい。	交通基盤	要望	Cグループ(第3回)	企画調整課	産業
178	交通基盤の整備については、なぜそのような選択をしたのかを市民に説明すべきだ。何事も説明責任を果たす必要がある。	交通基盤	意見	Cグループ(第3回)	企画調整課	産業
179	中平田地区周辺も後継者の不足が課題だ。農家戸数が減り周辺の維持管理が農家だけでは出来なくなっている。来年度から国の方針も認定農家中心から集落営農重視へと変わってきている。	農業振興	意見	Aグループ(第1回)	農政課	産業
180	地産地消はいいが、米の値段はもっと下がってもよい。10Kg3,000円だったら買う。おにぎりは1個80円ぐらいでいい。	農業振興	意見	Aグループ(第2回)	農政課	産業
181	農業生産物は、ただ作るだけでなく加工品として付加価値を付けて工夫して販売したらどうか。	農業振興	意見	Aグループ(第2回)	農政課	産業
182	米などは、品種改良などで外国人の好む味を研究開発して、海外に輸出してはどうか。	農業振興	意見	Aグループ(第2回)	農政課	産業
183	水田は多面的な機能を持っている。自然環境の保全、癒しの効果などもある。来年度からは集落営農制度が導入され、集団であれば20ヘクタール以上、個人で4ヘクタール以上の耕作地がないと農家と認められない。小規模農家やUターンして農業を始める人をどうするのか問題となっている。	農業振興	意見	Aグループ(第3回)	農政課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
184	国で進める集落営農で示された個人4ha、集団20ha規模の確立では、現状を見ると農業の安定化は図れない。米のブランドも安定した評価が得られていない。庄内米のアピールをもっと工夫してやっていく必要がある。カントリーでは、品質の均一化は図れるが混じってしまう。八幡では、特別栽培米を「真剣米」として北海道の網走へ送っている。1,000円高く売れるが、その分はグループでプールして全体で使っている。販売ラインの確立が必要だ。花卉、花木は、量が増えると近郊の産地に運賃負けしてしまう。栽培時期をずらしたり、販売方法など指導が必要だ。	農業振興	意見	Aグループ(第3回)	農政課	産業
185	農家民宿に対する支援制度を充実すべきだ。民宿を始める際問題となるのが、食品衛生法、消防法、建築基準法などの規制だが、それらの相談窓口を一本化したものを市で提供できないか。	農業振興	意見	Aグループ(第3回)	農政課	産業
186	地産地消では、山居倉庫をもう3棟買い入れるなど産直施設の整備を検討すべきだ。資料館としての利用も含めてだが。	農業振興	意見	Aグループ(第3回)	農政課	産業
187	商店街と農業関係者との話し合いがあった。農業の担い手となるヨーロッパへ行った女性たちが酒田の産直でがんばっている。商売している人、農業している人は分業的となっているため、作ったものが売れる組織を作ることができればよいという意見が出ていた。	農業振興	意見	Cグループ(第3回)	農政課 商工港湾課	産業
188	少子化の問題が酒田としては一番大きい。農業をしているが、人がいないと食べてくれないので農業が寂れると市街地でも寂れてくる傾向にある。酒田市独自に何かできるのではないか。20代で子どもが2~3人いると親の手を借りないと生活できないので、生活できる方策について手厚く考えてほしい。	農業振興	意見	Dグループ(第1回)	農政課	産業
189	去年の10月に経営所得安定大綱が出され農地解放以来の大改革が始まった。集落営農でないと生き残れない状況となり農村部で揺れている。元気のある農業者は産直施設で直売をしている。水田では飯を食っていけないが、発展的な農業をやる気がないようにも見える。地産地消で市内で販売しても、市内のスーパーの野菜の売上が落ち込んでいくことになるので、武蔵野市のアンテナショップのように東京や仙台に売り込んでいかないと難しいと思う。アンテナショップを3店舗くらい作り、商業者も一緒になって売れる店を作ってほしい。	農業振興	意見	Dグループ(第3回)	農政課	産業
190	農業について、農家を継ぐ感覚だけではいけない。職業としての経営感覚を持ち、経営者として収支バランスのとれるようなビジョンを作ってほしい。後継者育成のためには、他産業の賃金と同等のかそれ以上の収入がないと夢のある職業とはならない。行政はそのための支援をしてほしい。	農業振興	意見	Dグループ(第3回)	農政課	産業
191	地産地消を推進し、学校給食では、できるだけ地元のを消費するように、学校、業者、行政あげて最大限の努力をしてほしい。	農業振興	意見	Dグループ(第3回)	農政課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
192	戦前から「庄内は裕福で内陸は貧乏」といわれ、農家の経営は庄内は2～3町歩だが、内陸は1町歩程度しかないため早くから多角経営を行ってきた。今では逆転し、内陸のほうが収益が上っている。これは農家の姿勢の問題が大きい。米作は機械化により従事者が他産業に流出し、誰でもやれる米作に甘んじてきた。もう少し専業農家としてやっていけるように規模拡大をしてほしい。袖浦農協とみどり農協の違いは米作単作と多角経営の差であり、第2種兼業農業に甘んじないで、酒田の産業として農業の比率は高いはずなので、事業経営として取り組んでほしい。	農業振興	意見	Dグループ(第3回)	農政課	産業
193	農業は、これまで経営感覚がなくてここまでできてしまった。集落営農への取り組みにより、法人化が課題となっているが、リーダーとなる人材が確保できず、5年かけて法人化の体制を作ろうというのが今の農業の大きな課題だ。農業が発展しないと酒田が発展しない。米は60kg24,000円から12,000円と収入は半分になったが、機械などの支払いは減らないので動きに出るようになった。これからは米の単作だけでは生き残れないので、多角経営しなければならない。3haを切ると赤字になると言われており、難しい問題だ。	農業振興	意見	Dグループ(第3回)	農政課	産業
194	内陸より庄内の米のほうが品質がよく高いはずだ。宮城、秋田に劣らず全国5本の指に入る米どころなので頑張してほしい。	農業振興	意見	Dグループ(第3回)	農政課	産業
195	農業者が、生産から販売まで手がけるのは大変なこと。販売ルートもわからず、商業者と一緒になって考えていかなければならないと思う。	農業振興	意見	Dグループ(第3回)	農政課	産業
196	販売は、商業ルートに乗せると一気に広がると思う。他産業の人が集まって農産物の売り方について接点ができれば広がると思う。産業の一体感をもたないと良くならない。	農業振興	意見	Dグループ(第3回)	農政課	産業
197	遊佐町では、農産物を生協に結構高く売っているはず。生協は、良質なものを一定の価格で提供しようとするスタンス。行政と農業団体のタイアップで何か方法があるのではないか。	農業振興	意見	Dグループ(第3回)	農政課	産業
198	食べ物の季節感がなくなってきている。給食に提供するには、農業をしている方の協力を得て、優先的に出荷ができれば季節感のある農作物を子どもたちに提供できる。うど川原きゅうりなどの掘り起こしも今後やっていくべきである。今後はパンフレットを作って赤ネギなど季節ごとの農産物が分かるPRができればよい。	農業振興	意見	Cグループ(第3回)	農政課	産業
199	森林の環境保全については、十分対策を行ってほしい。災害を起こさない森林整備を望む。せっかく林道を作っても次の年は使えないでは困る。	環境保全	意見	Aグループ(第3回)	農林水産課	産業
200	砂防林は、海から塩を含んだ風がマツ林を通過すると塩分が10パーセントに減り、塩分をとるフィルターの役割をしている。そのおかげで農産物の塩害や住宅のさびが軽減されているのだから、マツ林は大切にすべきだ。	環境保全	意見	Dグループ(第3回)	農林水産課	産業
201	酒田の漁業は、急速冷凍庫と荒処理施設が整備されていないため加工業が育たないといわれている。これらの施設は官営でやってはどうか。	漁業振興	意見	Aグループ(第3回)	農林水産課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
202	スギ林は伐採して売るサイクルだが、マツ林は林業にはなじまない。森林組合でマツ林はマツクイムシの駆除が主な仕事になる。秋田のマツ林は壊滅的になっていることから、当地域では、行政、ボランティア、各団体が力を合わせて森林整備にあたる必要がある。海岸にマツがあるおかげで生活も農業もできることをPRし、ボランティアの芽をもっと大きくしてほしい。	市民活動	意見	Dグループ（第3回）	農林水産課	産業
203	松林のボランティアに協力してほしいと言われても普通の市民は何をしていいかわからない。	市民活動	意見	Dグループ（第3回）	農林水産課	産業
204	松林の整備作業はセミプロが行なうので、まず理解してほしい。環境税や草刈の手伝いなどできることから協力してほしい。ボランティアに参加してもらい、広げていくためにはどうしたらいいか考えてほしい。	市民活動	意見	Dグループ（第3回）	農林水産課	産業
205	森林ボランティアについては、指導者養成など情報を共有し、ソフトを充実させてほしい。	市民活動	意見	Dグループ（第3回）	農林水産課	産業
206	中山間地の活性化についてだが、自給自足で生活したい人に土地を分譲するのもよい方策だと思う。都会で定年を迎え、その後は田舎で暮らしたい人が多くなっている。	中山間地域振興	意見	Bグループ（第2回）	農林水産課	産業
207	中山間地域は景観が素晴らしいところが多い。国土の保全の観点からもなくてはならない地域だと思う。都会から移住し新しく農業を始め、中山間地域で楽しく生活する人が多くなれば1つのコミュニティができてくる。中山間地直接支払制度はそのための制度でもあると思う。山形には棚田のオーナー制度もあるようだ。	中山間地域振興	意見	Bグループ（第2回）	農林水産課	産業
208	合併によって山林部分が増えた。都会では、田や畑を買って自給自足で生活したいと考えている人が多い。この資源を利用して、都会から人を呼べる施策を考える必要があると思う。	中山間地域振興	意見	Bグループ（第1回）	農林水産課	産業
209	合併したことで鳥海山が酒田市のシンボルとして増え、山間地も増えた。中山間地域の振興では農地の荒廃を防ぐ取り組みが必要だ。	農業振興	意見	Aグループ（第1回）	農林水産課	産業
210	農業、林業では差別化、ブランド化しPRを図るべきだ。松くい虫の駆除のため伐採した木材は、ペレットに加工して利用すべきだ。庄内では鶴岡で作っている。	林業振興	意見	Aグループ（第2回）	農林水産課	産業
211	森林の環境保全では、林業の振興のためモノレールを整備し活用してはどうか。	林業振興	意見	Aグループ（第3回）	農林水産課	産業
212	中山間地には国有林がある。国の財産となっているところに交付金が出ている。旧平田町では1,300万円ぐらいある。このお金は何に使ってもよいという一般財源となっている。中山間地域の保全に向けて活用すべきだ。特定財源ではないので、いろいろな手立てもできる。	環境保全	意見	Cグループ（第3回）	農林水産課	産業
213	大学の役割は2つある。学生を教育して社会に送り出すことと、教授を中心に学会に論文を発表すること。若者が定着するには大学卒だからこそやれるレベルの高い事業所がなければならない。商工会議所と市が連携して取り組んでもらいたい。	企業誘致	意見	Bグループ（第2回）	商工港湾課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
214	誘致企業を考えるポイントについて、リサイクルポートの指定は港の規模等からすると大成功であり、更に誘致運動を展開してほしい。技術集積度の高い産業、エプソンの関連企業など企業団体の誘致を期待している。農産物加工、食品産業関連企業の誘致は外せない。素材型産業の誘致は無理だが、その素材供給のための物流拠点の基地の誘致はできると思う。	企業誘致	意見	Dグループ(第3回)	商工港湾課	産業
215	庄内空港からの大阪便の料金が高すぎる、値下げすべきだ。利用客の確保も考えて。	空港対策	意見	Aグループ(第2回)	商工港湾課	産業
216	新幹線が来れば空港のあり方も変わってくる。今のうちに国際空港を目指したらどうか。国外にも目を向ければ観光面でも効果がある。	空港対策	意見	Aグループ(第3回)	商工港湾課	産業
217	バスが市内の観光地を周遊するコースがあってもいいのではないか。	交通基盤	意見	Aグループ(第3回)	商工港湾課	産業
218	バスのネットワークが難しく理解されていないのではないか。実際の地図に書いたり、ルート変えてみたり、もう少し工夫すれば利用が増えるのではないか。	交通基盤	意見	Bグループ(第3回)	商工港湾課	産業
219	るんるんバスは、交通弱者にとっては重要な足であり、市民要望に応じた充実、存続をしてほしい。	交通基盤	意見	Dグループ(第3回)	商工港湾課	産業
220	酒田港に親水空間を整備すべきだ。テロ対策のフェンスができ使用できなくなったプレジャーボートの係留施設などを整備すべきだ。山形市からは松島より近いので人は来る。	港湾振興	意見	Aグループ(第3回)	商工港湾課	産業
221	港の振興では、親水空間の整備と北前船の建造を望む。	港湾振興	意見	Aグループ(第3回)	商工港湾課	産業
222	北港は近年東北の日本海側では、唯一国のリサイクルポートの指定を受けた重要港湾となっている。北港に市民から関心を持っていただきたい。将来北東アジアの交易が必要になってくることから、隣の秋田とか新潟では既に中国やロシアに事務所を作り盛んにやっている。酒田市になぜやらないのかと言いたいところだが、ぜひ港町だという誇りを計画の中に入れてもらいたい。	港湾振興	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業
223	東北公益文科大学学生の就職については、市役所も別枠を考えるべき。企業への売り込みも積極的に考えて欲しい。	雇用対策	意見	Bグループ(第2回)	商工港湾課	産業
224	日本は、海に囲まれた国だ。港と空港を活かしたい。酒田北港はいつも静かだが横浜港は人と荷物が行き交いにぎやかだ。庄内空港から中国へはチャーター便が飛んでいると聞いた。韓国へ飛ばし韓国から世界へ行けるようにしたらよい。	産業振興	意見	Aグループ(第1回)	商工港湾課	産業
225	酒田港は輸入、輸出の港だったが、リサイクルポートとなりごみを選んだ。貧しい国に中古の自動車や農機具などを送っているがごみになったらどうするのか。まわりの国をごみ箱にするのはいけない。	産業振興	意見	Aグループ(第2回)	商工港湾課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
226	事業は効率化により業務量は減るが、ふえる仕事を作らなければならない。徐々に体制を作り、市民・行政が一体感を持って徐々に産業が栄えるようにしてほしい。	産業振興	意見	Dグループ(第3回)	商工港湾課	産業
227	1回目の会合で酒田には若者が集まって楽しめる施設がないという意見があったが、どんな物があればよいのか。なぜ若者は仙台に買い物に行くのか。	商業振興	意見	Aグループ(第3回)	商工港湾課	産業
228	市外や県外の友達に聞いてみると、行く所と言えば近くには三川ジャスコとか南ジャスコぐらいしかない、仙台のように洋服の店がいっぱいあったらいいのになということだった。	商業振興	意見	Aグループ(第3回)	商工港湾課	産業
229	仙台のように商店街が大きくなると同じ買い物にしても選択肢が多くなる。カラオケ屋に行くにも何軒もあって選べる。若者は決まり切った所からではなく、次から次へという気持ちがあるものだ。	商業振興	意見	Aグループ(第3回)	商工港湾課	産業
230	秋田の角館では在郷の客を大事にしてメールを送るなどつながりをつくっている。商店街の発展のためには、そういった意識の転換も必要だ。	商業振興	意見	Bグループ(第2回)	商工港湾課	産業
231	商売もコミュニティを活用すればうまく進められるのではと思う。回覧版のルートを使って楽しい情報を色々流すなどして関心を持ってもらうのもよいのではないか。せっかくコミュニティがあるので、そのつながりで広告すれば面白いものができると思う。	商業振興	意見	Bグループ(第2回)	商工港湾課	産業
232	駅前の整備については、マンションが難しいとすれば、まずは屋台村から作れないか。あるいはアルコールがダメならば夕方4~7時位で個食用の惣菜を売るような店が作れないか。東京などの小さな駅前にはそうした店が必ずある。るるんバスや自転車を利用して行けるようにすれば、需要はあると思う。簡易にテントで設置してもよいと思う。	商業振興	意見	Bグループ(第2回)	商工港湾課	産業
233	車ということに固執しないで、自転車で行ける距離とか、歩いていける距離に商店街があって、そこで顔なじみになるとか、その街その街のことを考え、車のことは車でいけるところへ買いに行くとか、差別化みたいな、特色化みたいなことを考えていかないといけないと思う。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
234	病院を作ったり、大きなスーパーマーケットを持ってきたりして、それを中心の一つの街が形成されていくというのが、どんどん出来てきており、これは時代の流れでどうしようもないことである。合併して大きくなったわけで、どれが中心だという話ではなくて、その街その街の特性のある魅力あるまちづくりをしなくてはならないと思う。商店街もいろいろやっているが、新しい店が1軒できて、もつはずがないので、そのへんを上手くできる方法がないかと常々思っている。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
235	中心市街地の活性化に成功したところの人の話を聞くと、リーダーがいたから街が活性化しているというのが現実だし、その周りに5~6人のスタッフがいる。それが理想であるが人づくりは難しい。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
236	商店街は7時になると一律閉まっているし、その理由を観光客はわからないわけで、この街は何なんだということになると思う。祭りもやっているが、既成のことしかやっていないし、それでは人は呼べないので、もう少し自分達で頭を使ってほしい。役所主導で集まるのではなく、こういうところに来て提言してこそやる気があるといえる。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
237	家賃を補助して店をやらせるのは良いが、家賃の補助が切れるとその店が閉まってしまうので、お金を出すことがいいことなのかどうかはわからないが、もう少し厳しい言い方をしてもいいのではないか。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
238	大火後のまちづくりで、自分の住まいと毎日営業する店を分離したが、ある一定時間までは住んで、昔のように明かりを点けておくなど市民に対してアピールするということが必要だと思う。日和山下から鍛冶町までいわゆる中町通りの商店街は全部違うので、一本にするのが理想である。何でも行政頼みで、国からお金を貰ったり、行政でお金を出すのも良いが、我々納税者から見れば、行政はもっと言うこともきちんといわなければならない。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
239	何故店を閉めているかというのと、モータリゼーションで1軒1軒かまえてもお客が寄り付かなくなったからであり、それで住まなくなったのだと思う。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
240	車社会であり、商店街にもその街その街の役割があるわけで、三川もゆたか町もあり、中町が商店街でなければならない縛りがあるのかどうかも含め、違う方向で考えられないのかと思う。駐車場についても、わざわざ車を置いてお金を払っていく必要があるのかといえば、多分無い人の方が多いと思う。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
241	中町のほかにも商店街があって、あそこのじいちゃんが売っているものを買いに行こうかというようなまちづくりをしないといけない。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
242	中心商店街が寂れてきているのは全国的なことであり、フォーラムで聞いた東大教授の話では、来る者を待つのではなく、半径500メートル範囲を商圈として、そこで商売をやると割り切ったほうが良いのではないかという極論の話だった。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
243	中町商店街は歴史を持った街だし、一つ一つはいい店がある。車で行きやすくなるようにもっと止めやすい大きな駐車場を一つ造って、さっと歩けるようなルートというか、人の流れを作っていかなければならない。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
244	ポイントになるのは駐車場だと思う。基本的には無料だと思う。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
245	女性の場合、日用品とちょっとした買い物とは別に考えるので、商店街の話をするときは、商店街の女性でもいいし、消費者の女性でもいいので、女性の方をもっと入れたほうがいいと思う。	商業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
246	旧市内の繁華街の衰退が著しい。郊外に住んでいるが華やかなところは華やいで欲しい。車社会と言われているが、逆に中心街に車を入れないで、デートスポットとして、商業、医療関係で賑わいのある中心街をカッコよく歩きたいというようなことが生まれれば楽しい街ができる。	商業振興	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業
247	車が入れない一方通行がある。酒田大火後に衰退したと思うが、モータリゼーションであり車を駐車できないといけない。三川ジャスコのような大きく無料で止められる駐車場を中心市街地に作らないと街の活性化は図れない。また具体策として肉の専門店を集めたり、野菜を売る店を集めたり、そういう商店の作り方をしていた方がよい。競争にもなるし値段も落ちてくる。車を置いたら歩くだけでなく、京都のように循環バスを活用するのはどうか。酒田の場合は一方通行であるが、一回いくらもよいが、1日券で500円ぐらいであれば観光客など利用する人がいるのではないか。	商業振興	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業
248	宿泊施設も大事。改正市街地活性化法は、酒田市はタイミングが良い。総面積は1万㎡を確保でき、集客施設が建設できる場所が優先される。大店法が緩和され、大型店がどんどん入るようになり、地域の活力を吸い上げられるという結果になった。今度は逆の方向性でシャッター通りを何とかしようとして中心市街地への振興に向けられている。目的地にすぐ着くということはどのような感覚だろうか。意外と直ぐは短い。5分~10分。東京では平気で歩く。時間感覚を考えながら市街地の活性化を考えたときに駐車場の問題のんるんバスの話もあったが、心配なく移動できることが大事なものとなるのではないか。改正市街地活性化法を活用しまちづくりを進めてほしい。	商業振興	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業
249	無料の駐車場がほしい。中町パーキングや地下駐車場では第2土曜日が1時間無料だが、それを平日無料にしたり、毎日30分~1時間は無料にしたりすれば、もう少し利用者が増えるのではないか。店の前に駐車場がないのであれば、近くの駐車場に止めたいと思うが、それが有料になると敬遠されがちになる。市役所に止めるのも気が引ける。利用のしやすい無料駐車場ができればよいと思う。	商業振興	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業
250	学生が川南地区だけでなく中心市街地を闊歩するような賑わいが欲しい。商店街からも協力をもらい魅力をつくり出して活性化させていきたい。	中心市街地活性化	意見	Bグループ(第2回)	商工港湾課	産業
251	工業、商業とも年々減少傾向にある。企業立地も進んでいない。イベント参加者も現状維持か減少で増えているのは海鮮市場ぐらいだ。活性化のためには、市の中心に無料の駐車場と公園をつくってはどうか。点と面でつなぎ徒歩や自転車で市内を回れるようにすればよい。	中心市街地活性化	意見	Aグループ(第2回)	商工港湾課	産業
252	韓国では、塀を作ってそれをきれいにしてお楽しみうれしさをつくっている。中町は早く新しくきれいに整備して欲しい。お金を使って新しくし、そしてお金を儲ければよい。	中心市街地活性化	意見	Aグループ(第3回)	商工港湾課	産業
253	市街地は井戸が多いので、井戸のまちとして整備し大学生が散策、デートできるようなゾーンも必要だと思う。大学生にとって魅力あるまちにしないと集まってこない。	中心市街地活性化	意見	Bグループ(第2回)	商工港湾課	産業
254	商業都市として駅前を活性化させる必要があるのか疑問だ。ジャスコがよければジャスコに行けばよい。映画館が6つもある。全国の専門店もあるし商品も安い。その流れを止めることは難しい。	中心市街地活性化	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業
255	働く場所が少ない。深刻だ。職安に行っても仕事がない。県内でも県外でもいいから行政の力で大きな工場を持ってきて欲しい。お金を稼げる酒田、若い人も中年も安心して暮らせることが大切ではないか。お金がなければ暮らせない。平和な家庭を築くには若い人、中年の人も暮らせる街を作ってもらいたい。	雇用対策	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
256	酒田は一方通行が多い。一方通行の街は停滞する。通せばよいのと思う。不便だと思ふ。規制が厳しいと街は停滞する。両方通る道路の方がよいと思ふ。そういうチャンスがあったら直してほしい。	交通安全対策	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業
257	中小企業は息子が継がないとたんでしまう傾向があるが、高卒で気持ちのある人を後継者に育ててもいいわけであり、そういうことを誘導していかなくてははいけない。	工業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
258	若者の起業や創業とかを上手く地方自治体が支援していかないといけないと思ふ。中途半端な補助金とか利子補給では駄目なので、根本から考えていかないといけないし、そういうことを含め全体からみて中心市街地というものを考えていかないといけないと思ふ。	工業振興	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課	産業
259	雇用についてだが、庄内地区は賃金を上げるような所得倍増計画、近隣から魅力があつて集まってくる仕組みを作らないといけない。後継者に対する補助金、助成金、賃金の補助、貸付制度など、中小企業は息子以外に経営権を譲渡するときは、お金をもらわないと割りがあわない。そこに対する後継者への補助を考えるべきである。	工業振興	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業
260	林業、漁業、農業は専門職として魅力的な仕事だと思ふ。魅力ある専門職づくりとイメージ作りと良い仕事があるところをまとめて、職業訓練所、職業安定所でメリットをPRしてほしい。専門職が活気を取り戻すことによって、他の仕事にも受注や販売に繋がっていくので雇用の改善にもなると思ふ。	産業の振興	意見	Cグループ(第3回)	商工港湾課	産業
261	住宅環境について、中心地に空き家が増えたり、老朽化が進んでくることは必至であり、意図的に低所得者の若い世帯の人とかを斡旋して人口誘導してはどうかと思ふ。防犯とも少し絡むけれども、老朽化した家とかを自治会の方が中心になって点検して、その中で自治体の協力も得ていけるのではないかと思ふ。	中心市街地活性化	意見	Cグループ(第2回)	商工港湾課 建築課	産業
262	街中に買い物に行くが、「ありがとう」という言葉が物を売る側からあまりない。また、夢の倶楽は古いもの(山居倉庫)を活かしたまちづくりで客が多く結構だが、近くにある山居館のレジの店員は、私語があり観光客を余り意識していないように見える。イメージダウンだ。心から感謝の言葉を言えるようにしたい。	観光振興	意見	Aグループ(第1回)	観光物産課	産業
263	酒田は、新しいものはつくるが古いものを活かして活用することが少なく残念だ。	観光振興	意見	Aグループ(第1回)	観光物産課	産業
264	観光では、いかにして足を運んでもらえるか考えることが必要だ。	観光振興	意見	Aグループ(第1回)	観光物産課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
265	観光面だが、酒田信用金庫の加用理事長の話がコミュニティ新聞に出ていた。「酒田は、自然あり歴史のものありで観光面では条件に恵まれた地域だが、その利用がもったいないくらいなされていない。」とのことだ。なぜなのか、中町なら中町だけに力を入れるなど部分的なものだけになっている感じがする。まちづくりは、観光客のためでなくそこに住んでいる人たちのためのものでありたい。子どもの頃、本間美術館に遠足で行って自分たちが知らなかった酒田を知った。日和山に行けば精神的な日常生活では味わえない山王様や光丘神社など独特の雰囲気があった。このようなよそにはないものをもっと活用すべきだ。鶴岡市では、荘内神社や、致道博物館などを自分たちのまちの文化として大事にしている。国体の時はまちをきれいにしようという機運があったが最近では薄れてきた。酒田の場合はただ何か新しいものを造ればよいと考えているようだ。まちを大切にしようとか、文化に誇りもつことを忘れて残念だ。	観光振興	意見	Aグループ(第1回)	観光物産課	産業
266	酒田には、若者が楽しめる施設が少ない。レジャー施設など整備できればよい。	観光振興	意見	Aグループ(第1回)	観光物産課	産業
267	酒田には、観光地がないから飛鳥を韓国のチェジュ島やアメリカのラスベガスのようなものにすればどうか。また船を新しくしたりヘリコプターを飛ばしたらどうか。また平和のために国と国との間に橋を架けることも考えてみてはどうか。	観光振興	意見	Aグループ(第1回)	観光物産課	産業
268	現状と課題の資料では、旧酒田市内のことしかふれられていないような気がする。合併に伴って八幡、松山、平田のそれぞれの良い所を引き出してもらわないとどんなまちづくりをするべきか見えない。歴史的なことが基本になっている。本間美術館からは以前は鳥海山が見えたが今はどこかの看板が見えるだけだ。そういうところからまちづくりを考えてはいいかがか。まずは、まちづくりには何が大切なのかから議論すべきではないか。	観光振興	意見	Aグループ(第1回)	観光物産課	産業
269	観光においては、なるべく地元言葉でお客さんに接することも大切。	観光振興	意見	Aグループ(第2回)	観光物産課	産業
270	川辺の館は目立たないのでどこにあるかわからなかったので、店にそのことを話したら次に行ったときはのぼり旗が出ていた。観光客の目に対応すべきだ。	観光振興	意見	Aグループ(第2回)	観光物産課	産業
271	明るいまつりができる企画を望む。大きなカーニバルの誘致などで人を呼び込むべきだ。	観光振興	意見	Aグループ(第2回)	観光物産課	産業
272	団塊の世代が退職の時期を迎え結構動いてきている。観光では、お金も暇もあるこの世代からどう酒田に足を向けてもらえるか考えるべきだ。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
273	ラグビーであれば菅平と言われるような酒田の売りが欲しい、酒田であれば、 というような。酒田には、甚句とか北前太鼓があるがこれらをうまくPRできないものか。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
274	酒田の農業文化では山居倉庫を利用した夢の倶楽部ではなく、光ヶ丘にある国立倉庫を活用してはどうか。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
275	産業の振興、交通基盤の整備、行財政と関係する課題がたくさんあるが、10年後の酒田を見据えると一ずつ着手するには無理がある。まずは、観光をやるべきだ。そのためには交通基盤をどうするのか、ターゲットをどうするのかを考えると、一番呼べるのは、観光資源や距離的条件などを考えると新潟や秋田の人なのではないか。北前船を造って巡航させることもいいアイディアだと思う。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
276	観光のPR等にはマスコミを利用することも大切だ。マスコミの力はバカにならない。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
277	真冬に鳥海山に連れて行って、雪の中の露天風呂に入ってもらったら、えらく感動されたとの話を聞いた。そんなことでも考え方によっては観光資源となる。酒田は観光PRが下手と言われている。マスコミの力などを借りるなどし努力すべきだ。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
278	グラウンドゴルフ東北大会を酒田に誘致したが、問題となったのは宿泊施設の不足だった。市内では、鳥海山荘や眺海の森さんさん、かんぼの郷酒田などに泊まってもらったが、あとは湯野浜だった。60歳以上の人たちなので温泉を望んでいる。それに市内には見る施設がないし魅力がないと思った。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
279	酒田には見るものはたくさんある。合併して更に増えている。八幡には古代人の遺跡もある。東平田にはお寺が、城輪柵跡もあるし市内には埋もれた遺跡などもたくさんある。いろいろ点在しているが朽ち果てて手を入れてないものもある。観光客は、酒田のルーツは何かを求めてくる。これらの遺跡などについて本気になって考えるべきだ。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
280	酒田に来たとき相馬楼や本間美術館は面白いと思った。観光スポットとしてこれらの施設を石畳で繋ぐなど整備したらどうか。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
281	韓国には、紅花もないし雪もない。酒田は冬が長いので雪を利用した観光はどうか、吹雪も珍しい、利用してはどうか。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
282	イベントを誘致した話があったが、自分の経験からもイベント等に来た人から口コミで発信される情報はあつという間に広がることもある。ないものをいうのではなくあるものを外に発信する力が必要だ。アマゾン資料館の山口さんは、行政がらみで2つも施設をつくった。鶴岡に行ったら寄ってみたい施設になっている。年月をかけていい所をPRしていくことも必要だ。	観光振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
283	中心市街地の活性化のため、山居倉庫に来た観光客が中町にまで歩いて来られるようにしたい。そのためには山居倉庫に停まったバスが中町モールまで入ってきて、観光客を待っているようにすることだと思う。中町モールの空間がもったいない。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	観光物産課	産業
284	日和山の隨身門の近くに明治27年の酒田大地震に関する大きな記念碑がある。それも公園内に移動して観光客に見せていけば地震の啓蒙もできる。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	観光物産課	産業
285	合併して市域が広がった。日和山に市域を俯瞰できるタワーを建ててはどうか。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	観光物産課	産業
286	獅子頭は酒田大火復興のシンボルだが獅子頭だけでは中途半端なので、正月行事として獅子舞を大々的に披露したらどうか。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	観光物産課	産業
287	酒田は神話が少ないと思う。山居橋を縁結びや子宝の橋にして、渡りたくなるような橋にしてはどうか。他にも、おしんの像を触ると縁結びになるなどの神話を作って売り出すことなど考えられないかと思う。北海道の幸福の駅などの例もある。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	観光物産課	産業
288	北前船の復元建造が新聞に出ていたが、観光の1つの目玉になると思う。市も力を入れ実現できるように協力してもらいたい。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	観光物産課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
289	寒鰯祭りの時に中町モールに大勢のお客さんが来ていたが、雨が降った時があった。折角、遠方からも来てもらっているのに大変だった。最近ではテント技術も進んでいるのでそういったものを使い、雨天時のイベントスペースを確保してもらいたい。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	観光物産課	産業
290	臨港線を活用し海鮮市場まで線路を延ばして観光駅をつくれなにかと思う。走らせる列車はここにしかないレトロなものにすれば、乗りたい人や写真を撮りたい人が来ると思う。少し足をのばせば山居倉庫まで行ける。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	観光物産課	産業
291	井戸が日吉町界隈には残っていることから、井戸のあるまちづくりを進めてきた。8月24日の日本経済新聞に阿部酒田市長が回遊型観光を育てたいという記事を載せていた。この考え方と同じである。駅前の開発と回遊型コースの一つの方策として考えられると思う。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
292	市民一人ひとりが観光ガイドをできるくらいに自分の町を知ることが大切である。全市民が観光客に一声かけてあげられることから考えていかなければならない。基本的なことが酒田はまだなっていないと思う。観光案内所のポリボックスみたいなものが清水屋前などに何箇所かあり、そこに行くとも何でも教えてもらえるというものがあればよいと思う。小さなことから積み上げる必要がある。リピーターを逃がしてしまっている。賑わいを取り戻すためには、昼間人口をいかに確保するかだと思う。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
293	現状と課題に祭り・イベントの充実と書いてあるが、逆に祭り、イベントが多過ぎる感じがする。酒田市民が楽しむまつりと観光誘客のための祭りを上手に整理する必要がある。事務局は、イベントの追われてしまっているように感じられ、本来一番重要な観光客の皆様を暖かくお迎えするといったソフト面をしっかりとしていく必要がある。また、日本海沿岸自動車道、新幹線のインフラ整備をしっかりとする必要がる。旅行者の立場に立って、見やすいもの、分かりやすいものを考えることが大切である。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
294	大きすぎて地図を見にくそうにしている観光客の方を多くみかける。改善すべきだと思う。	観光振興	要望	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
295	あれもこれもやってもしょうがない。酒田にとって売りが明確ならイベントは1年に一つでよい。また、団塊の世代をにらみ、ボランティアでできるような仕組みをつくっていく必要がある。京都では観光に関する試験があり、大勢の人が応募してくるようだ。まずは、酒田の歴史など、基礎データをしっかりと作る必要がある。団塊の世代は機会があれば何かやってみたいという部分があり、活用していくべきである。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
296	観光ガイドの育成に合わせ、子どもたちでも応えられるようなガイド育成が必要である。地元の話しを聞きながら、古い話、面白話しのガイド育成も必要である。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
297	合併して広くなったが、観光客用の足の対応が不十分である。タクシーの周遊券みたいなものを制度化してもっと回りやすいような仕組みができないか。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
298	参加型観光として、傘福づくり、絵ろうそくづくりといったものを考えていく必要がある。参加して楽しいということはリピーターにつながる。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
299	観光のホームページで、観光客が必要とするものに視点を置いて。酒田市全体のおいしい食べ物の店をお知らせする対応が必要ではないか。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
300	盛岡では、観光案内標識に英語だけでなく、韓国語などの標記もあった。外国人観光客が増えている。裕福な層が多く、丁寧な対応をすることによって大きな観光収入が見込めるのではないか。また、安心安全についても関心が高く、全ての商品について困難だとしても、商品陳列の場所に外国語でお知らせする対応も必要と考える。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
301	案内標識が分かりにくく。観光客だけでなく住民(集落)もどのように行けば良いのか分からない状況であり改善する必要がある。利用者の視点に立って観光案内標識を整備してもらいたい。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
302	飛島丸発着所へ向けて秋田県側から入ってきた時、大浜からきて酒田港(陸橋上)の案内標識が、左が酒田市内で右が西埠頭となっているため、飛島で行く観光客は、まさか発着所が市内方向とは思わず、西埠頭方向に進んで迷っているケースが多く、改善が求められる。	観光振興	要望	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
303	観光のスタイルが大型バスで市内観光施設や湯の浜温泉にやってきた時代から大きく変わっている。これからは専門化していく必要があり、観光ガイドなども専門化していく必要がある。市には多くの施設があるが、看板だけでもよいので「観光案内所」的なものを設けてもらいたい。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
304	我々も歩くことが大切である。また、観光案内地図は方角と距離をきちんとすべきである。縮尺もなく距離感が分からない。また、その施設を見るのにどれくらいの間がかかるのかといった情報が不足している。その地図をもって歩いてみることも大切である。	観光振興	要望	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
305	先日、清亀園はどこと言われて説明に窮したことがあった。自分たち自身がまず、歩いてみるのが大事である。スタンプラリーなどのイベントを実施して、市民が歩くイベントを企画して地元の人から知ってもらうことも大事である。もっと親切的な観光案内対応が必要である。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
306	本間美術館主催の本間家ゆかりのツアーに多くの人々が参加した。酒田市民向けの観光ツアーを企画してみる必要がある。酒田市民としてもっと自己PRできることが必要である。生活者の視点を捨てて、観光客の視点に立ってまちを歩いてみるのが大切である。車では見えないものが、歩くことによって多く見えてくる。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
307	市民も行政も、もっと外からの目線で見る必要がある。一生懸命議論しても以外と中からの視点でしか見ていないことが多いように感じる。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
308	海鮮市場の関係で多くの人々が訪れている海洋センターの取り扱いをもっと考えてもらいたい。(観光協会の人々が一度も来たことない)	観光振興	要望	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
309	物産開発、酒田ならではのものを開発してもらいたい。鶴岡であれば古鏡があるが、酒田の場合はない。何か神話を入れたものでもよいと思う。地名度があるものをネーミングにしてインパクトを与えることが必要。	観光振興	要望	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
310	東京駅でニコニコマークが付いた袋をよく見かけ、酒田から来たのだなと感じさせる。新たな商品開発が難しければ、包装紙や袋を統一するののも一つだと思う。各業者で作成する必要もなくなり、PRにもつながると思われる。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
311	新潟地震で水道が使えなくなり、井戸で助かった。こういったものに観光を含めて真剣に取り組んでいく必要がある。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
312	日和山公園の蒸気機関車を何とかすべきである。あのままにしておけない。	観光振興	要望	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
313	一般的な観光施設をめぐる表の観光と、まち並みを見る裏の観光がある。京都の観光は二分化しておもしろくなってきていると聞いた。自分は、どこかへ行く際は、1日目には一般的な観光コースを見て、次の日はインターネットで調べて地元の人しか知らないようなところへ行きたいと思う。観光は情報提供であり、どのように紹介するかをしっかりとする必要がある。	観光振興	要望	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
314	日本海沿岸自動車道が出来て酒田が通過点になっては困る。今から、いろんな面で手を打っておかなければならないと考える。	観光振興	意見	Bグループ(第3回)	観光物産課	産業
315	自転車で歩ける範囲で物事を考えるというのは、環境にも体にもいいし、ちょっといいのかなと思う。昭和が東京で流行ったので酒田でも、夏期間だけ柳小路に屋台が並ぶとか、ノスタルジーをそるような、何か企画ができたと思う。柳小路の柳を切らないで、何かできないか、櫂もいいけど柳もいいと	観光振興	意見	Cグループ(第2回)	観光物産課	産業
316	観光の人に飲み屋の場所を聞かれるので、ある意味観光でありお金も落ちるわけなので、飲み屋を考えたまちづくりやデートスポットなど視点を変えた街の見方も必要だと思う。	観光振興	意見	Cグループ(第2回)	観光物産課	産業
317	観光客にとって酒田はどうしても不便なので、もう少し観光客を見据えた2次交通を考えていただきたい。今の観光客は全然お金を使わないので、ハイヤーは使わないし、バスであり、それから無料自転車である。バスに時刻表を見ながら乗るなんていうのはナンセンスであり、山形では100円で中心地をぐるぐる回るバスがあるし、新潟もそうであり、酒田の場合はるんるんバスでどこを通過してどこに行くのかわからないような状態である。ソフトでもっともっと良くなるのだから、るんるんバスだけではなく、庄内交通のバスともタイアップして、市街地にお客さんが来られるような循環バスを作るべきだと思うし、我々自身もいけるような、観光客も来られるような方向での5年後10年後を考えてもらいたい。	観光振興	意見	Cグループ(第2回)	観光物産課	産業
318	地方にはフランチャイズは進出してこない。理由は物流が悪いからである。一店舗作っても物流が合わないから来ない。飛行機は物流にはあまり影響はないが道路は大切である。新幹線については投資効果がわからない。外からきた人間は庄内として見る。酒田、鶴岡が共同し、庄内という単位で観光をやらなないといけない。	観光振興	意見	Cグループ(第3回)	観光物産課	産業
319	酒田は宿泊施設がない。温泉地がない。鶴岡と比べるとない。観光も含めた客を受け入れる場所がない。山居倉庫を拠点として進めているが、観光への深みがない。何とか藤沢周平に負けない企画をすべきである。一日の疲れを労う場所ができないものか。酒田の観光は、表面観光ではなく、これでもかというほど、深みのあるものにしてほしい。	観光振興	意見	Cグループ(第3回)	観光物産課	産業
320	市役所のホームページから酒田の観光施設を見て、タクシー会社が選べて予約ができるとすれば、タクシーの需要は結構ある。高齢者が多いので、上手に言えばタクシーはこれから伸びるはず、ホームページからタクシー会社にアクセスできれば、何時ごろに駅に着くからという予約ができれば観光客も来やすい。費用対効果もあるのではないかな。	観光振興	意見	Cグループ(第3回)	観光物産課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
321	海洋センターの案内をしているが、県外から飛鳥発着所に行こうとして時間に余裕を見てきたが、発着所の看板がなく道に迷って船に遅れてしまったという話を聞いた。本港にくる道が分からずに北港に行ってしまった。案内図が目につかない。	観光振興	意見	Dグループ(第1回)	観光物産課	産業
322	海鮮市場や山居倉庫は料金が安く、同程度のパーティーを東京で行なうのと旅費を含めても同程度の料金で出来ると思う。地元だけで仕事をして行き詰まるので、人口が減少することを考えると交流人口を増やすことが大事。	観光振興	意見	Dグループ(第3回)	観光物産課	産業
323	これからは、少人数の旅行が中心となるので、市民一人ひとりが観光客をもてなす気持ちを醸成してほしい。そのためには自分の街に誇りを持つことが大切になる。例えば、村上市では、普通の商店でも歓迎してくれたし、人吉市の雛祭りでも歓迎してくれた。	観光振興	意見	Dグループ(第3回)	観光物産課	産業
324	大学生がアルバイトできるようなしくみが必要。市内の観光案内をぜひアルバイトでやってもらいたい。夏休み期間にアルバイトで稼ぐことも大事だ。大学を育てる意味もある。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	観光物産課	産業
325	観光と食文化を伸ばしていくべきだ。採れたての旬のものを食べる土地柄だが、観光物産としてPRするには、生ものに加えて加工品をつくるべき。	観光振興	意見	Dグループ(第3回)	観光物産課	産業
326	酒田には多くの日本一がある。歴史的には本間家が日本一の地主である。観光の面でフルに活用することも必要だし、酒田市民として誇れる町を作り上げるには、日本一を活かす方向で総合計画を立てた方がよい。	観光振興	意見	Cグループ(第3回)	観光物産課	産業
327	飛鳥にある手つかずの自然は貴重であるが、砂浜から外れて遊んでいると見守りがきびしくて楽しめない。何もしていないのにすごかった。養殖している貝などがあるのだろうと思うが、うまくできないかつくづく思う。飛鳥は自然のまま残していただきたいが、おもてなし教育も大切ではないかと考えている。おみやげ屋も時間が来ると閉まっている。	観光振興	意見	Cグループ(第1回)	観光物産課	産業
328	酒田は、日本酒のレベルが全国でも高いレベルであり、酒かすは、もうそう汁、寒だら汁、漬物に使い消費量は全国でもトップレベルだと思うので、酒かすを使ったみやげ品、加工品を検討してはどうか。	物産振興	意見	Dグループ(第3回)	観光物産課	産業
329	電車の中で古物商の話聞いたことがあるが、古美術は酒田だと言っていた。商人の町で発展し金持ちが多かったのが、人材が育てることができた。舟箆、絵蠟燭、ガラス工芸などがあるが後継者が育っていないので何とかする必要がある。	物産振興	意見	Aグループ(第3回)	観光物産課	産業
330	生活基盤の充実で、ある中山間地域の事例で葉っぱを取り、京都へ出荷して成功した話を聞いた。特産品を開発するようなコミュニティビジネス、飛鳥だったら「これ」というような強みのある仕事があれば若者が定着する。知れ渡るような特産品ができれば、中山間地も同じであるが、この地域であれば「これ」というような特産品を開発すればよいのではないか。そのための専門的知識を持つ人からの指導を受けることも大事な視点ではないか。	中山間地域振興	意見	Cグループ(第1回)	観光物産課	産業

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
331	日本海沿岸自動車道路について、秋田県側は進んでいる。もっとスピードを上げて10年後には開通するようにしてもらいたい。	交通基盤	意見	Bグループ(第3回)	土木課	建設
332	大通りが4車線化なり、一方通行となった。その影響で鍛冶町あたりからシャッター通りになり始めた。商店の声を聞いて対応してもらいたかった。	交通基盤	意見	Aグループ(第2回)	土木課	建設
333	道路の通行規制については、国、県、市土木課、商工会議所、商店街、地元が一つのテーブルについて話し合っているが、市当局からはもっと大きな声を出してもらいたい。	交通基盤	意見	Aグループ(第2回)	土木課	建設
334	今年は大雪で大変だった。地域内の歩道や除雪車がおいていった雪などはボランティアでお願いしたいといわれても、家庭のことだけで手一杯の状態だった。各自治会で除雪の組織づくりをして対応してはどうか。行政に文句を言うばかりでなく、これからは地域での活動も必要だ。	除雪対策	意見	Aグループ(第2回)	土木課	建設
335	徒歩で通学していると、歩道の除雪がされてなく凸凹してとても歩きにくいし危険だ。商店や民家の玄関前は自力できれいにしているところもあるが。車道しかキチンと除雪されていない。地域でなんとかならないものか。	除雪対策	要望	Aグループ(第2回)	土木課	建設
336	雪対策では、各自治会に小型の除雪機を配置し細かな所は任せたらどうか。	除雪対策	意見	Aグループ(第2回)	土木課	建設
337	雪対策で、降ったら国から補助金をもらって、降らなかつたらもらわないという姿勢では知恵がないので、雪保険のようなものを考えるなど行政マンに知恵を絞ってほしい。雪を使っているいろいろやることで対応できるのであればそれでもいいと思う。	除雪対策	意見	Cグループ(第2回)	土木課	建設
338	また、大通り商店街を車で南進、右折して中町方面に入れるようにしてもらいたい。	中心市街地活性化	要望	Bグループ(第2回)	土木課	建設
339	中心商店街の活性化のために、新井田川から資料館の前を通過して中町に入れるように道路の整備してほしい。	中心市街地活性化	意見	Dグループ(第3回)	土木課	建設
340	これからの道路整備に置いては、電線の地下埋設だけでなく融雪(車道、歩道)を考慮したものにすべきだ。	道路整備	意見	Aグループ(第2回)	土木課	建設
341	自宅前の植樹木の除草など手入れは、ボランティアで自分たちでやってもいいのではないか。	道路整備	意見	Aグループ(第2回)	土木課	建設
342	新庄酒田間の高規格道路の更なる建設促進のための運動が必要だ。	道路整備	意見	Aグループ(第3回)	土木課	建設
343	両羽橋と出羽大橋に、自転車用のフードを付けることはできないか。	道路整備	要望	Bグループ(第3回)	土木課	建設
344	生石から市内に入ると新井田川を超えると左折しなければ駅前に出られない。地下道をくぐって駅前に出られたら渋滞緩和にもなり、地域の活性化にもなると思う。時間をかけずに早めにしてほしい。	道路整備	意見	Dグループ(第3回)	土木課	建設

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
345	若浜コミセンは、避難場所指定になっているが大雨が降ると直ぐに水浸しなる場所だ。新井田川があふれば一番先に水につかるのだからいかなものか。	排水対策	要望	Aグループ(第2回)	土木課	建設
346	若浜コミセン前は大雨だと直ぐに交通止めになる。あれでは防災センターにならない。災害では、水道、ガスなどのインフラが破壊されることがある。地震に強い材質を使った整備を考慮すべきだ。新潟地震から40数年経った。災害は忘れた頃にやってくる。備えに万全を期すべきだ。	排水対策	意見	Aグループ(第2回)	土木課	建設
347	治水対策について 大町溝の上流が宅地開発され流入量が大幅に増加している。大町溝の排水対策として、小牧川へのバイパスを整備して導水してはどうか。大雨が集中すると市街地の道路側溝があふれてしまう。排水能力の向上と新井田川へのポンプアップ設備の能力強化が必要である。市街地河川の流域整備に環境美化ボランティアがたいへん活躍している。これまで以上に行政の対応を強化しなければならない。	排水対策	意見	Dグループ(第2回)	土木課	建設
348	土砂災害の危険箇所が280か所もある。地滑り防止など緊急にやる必要がある箇所は実施すべきだ。計画を建て整備年限、金額などを示すべきだ。10年間で直せるものはこの計画に盛り込んでもらいたい。	防災対策	意見	Aグループ(第2回)	土木課 危機管理室	建設
349	上下水道の整備、鶴岡市と比べると約50%、酒田市は30%だった。生活に関わる社会資本整備はするべきだ。道路整備は、国と県と市と管理者が違うわけだが、特にひどいのが市道である。この間の雨で側溝が溢れたところは、家の近所だけでも4か所あった。それは側溝整備をしていないからだ。最低の社会資本整備は必要。余計なものは作らなくてもよい。	排水対策	意見	Cグループ(第3回)	土木課	建設
350	住宅環境の整備では、200万円の貸付助成制度があるが、これをもっと充実・拡大すべきだ。1回限りの助成ではなく、10年後あるいは環境に配慮した設備には2回目も認めることなども検討すべきだ。	住宅対策	意見	Aグループ(第2回)	建築課	建設
351	現在の住宅建設資金の助成は、住所が同一でないと対象にならないため、高齢者を引き取っている場合は対象にならなかった。生計を一にするという証明があれば対象になるといいと思う。	住宅対策	要望	Cグループ(第2回)	建築課	建設
352	酒田市は建築確認が厳しいし、容積率も厳しい。何とか緩和できないか。	都市整備	意見	Aグループ(第2回)	建築課 都市計画	建設
353	大火後に一斉に建てられた建築物には当時まだアスベストが使用されていた可能性がある。立て替えの際には、耐震化やアスベスト除去のための助成も考えるべきだ。	防災対策	意見	Aグループ(第2回)	建築課	建設
354	木造住宅の簡易耐震診断を酒田市でもしているが、防災を考えるとこれを広めていくことが大事だと思う。	防災対策	意見	Bグループ(第2回)	建築課	建設
355	木造住宅の耐震診断が12件と低く、あまりにも無関心だと思う。	防災対策	意見	Dグループ(第3回)	建築課	建設
356	下水道の施設は地域にあっても普及が進んでいないところがある。下水道につながらない家庭には、防疫薬剤の配布を止めてもよいのではないか。	排水対策	意見	Aグループ(第2回)	下水道課	建設

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
357	日和山公園を整備して観光スポットにできないかと考える。山居倉庫から中町、そして日和山に観光客を誘導していくべき。そのために大型バスが何台も駐車できるように整備してもらいたい。	観光振興	意見	Bグループ(第2回)	都市計画課	建設
358	景観法が施行された。鶴岡市ではその前から景観条例を施行していた。豊富な文化財などを観光の振興に結びつけるなら景観条例を制定し活用をした方がよい。	景観形成	意見	Aグループ(第1回)	都市計画課	建設
359	通りの片隅に段ボールなどのごみが積んであることがある。美観をそこねるので何とかならないものか。	景観形成	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
360	景観条例は必要だ。確かに本間美術館からは、カラオケ店の大きな看板が目に入り眺望を妨げている。館内に置いてあるアンケートにもそのことが何人も記入していた。日和山のようにマンションが建ってからでは遅いので条例を整備し規制すべき。	景観形成	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
361	景観整備についてだが、酒田は何を守って、どのようにしたいのが見えない。全体的なコーディネートができていないように見える。白鳥の飛来数全国一を守るとか、八幡の里山里地、松山の歴史や伝統文化を守るなど大きな目標をつくって対策を考えたらどうか。	景観形成	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
362	山居倉庫周辺のまちなみ景観を大事にしていくべき。山居倉庫の白壁と黒瓦にあわせて周辺がリニューアルしているが、そういう中で景観にマッチしないような看板もある。景観に関する法的規制になるか自主的な判断になるかわからないが、景観に配慮していく必要があると思う。	景観形成	意見	Bグループ(第2回)	都市計画課	建設
363	酒田の観光施設が多くできているが市民が観光客をもてなすという意識ができていない。乱立する看板。観光施設として力を入れようとするときにその周辺で看板広告を出す人、貸す人、探す人という人たちに対してまちづくりが伝わっていない。山形県の広告条例もそうで、規制がきびしくて看板が建てられないところがある。不動産屋や建築屋がわからなくて、借りてみたら看板が建てられなくて商売にならなかったというところを見てきた。規制するところはきちんと規制し、この地域には建てられないということをしてPRしてほしい。	景観形成	要望	Cグループ(第1回)	都市計画課	建設
364	景観整備について、まちづくりは、10年後にこうしますよという構想を基に決めていかないとバラバラのものになってまちづくりはできない。福祉的な施設と商店街的な施設をマッチングしたまちづくりをするということであれば、それはそれでいいがそう上手くいくのかなと思う。	景観形成	意見	Cグループ(第2回)	都市計画課	建設
365	本間美術館に行ったら、庭園の間から看板が出ていたりする、特定の地域という部分で条例を作っていないと、山形県条例だけではどうにもならない。	景観形成	意見	Cグループ(第2回)	都市計画課	建設
366	景観について、10年、20年先を見ていくことは非常に大切だと思う。鶴岡は城下町だし、酒田は商家の街だというイメージがあって、観光客もそれを期待して来るわけであり、高野山や小京都をイメージしたようなまちづくりや、港を意識をしたようなまちづくりなどのコンセプトをもって、10年くらいかけてとんとん考えて、やっていくべきである。その時に、条例とかある程度特殊なものは市が中心になってやっていかなくてはならない。	景観形成	意見	Cグループ(第2回)	都市計画課	建設

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
367	観光については、コンパクトシティで考えるべきであり半径500m以内で街を作っていく。そして、この地区は桜を植えているとか、この地区は景観を意識して壁を作っているとか。船場町であれば横浜や神戸のような街にするとか。全部をモデルにするのではなく、まちごとに特色を作って観光客に見せる。そういう施策を作っていくことが大切。松山、八幡地域でもできる。	景観形成	意見	Cグループ(第3回)	都市計画課	建設
368	山居倉庫を中心とした景観は整ってきたが、その他の地域は建物が混在しバラバラである。中途半端な整備に終わることなく行政の補助といった支援策が不可欠である。	景観形成	意見	Dグループ(第2回)	都市計画課	建設
369	景観づくりに取り組んでいるのは山居倉庫周辺だけである。他の自治体を参考例にしながら景観条例を作る必要がある。	景観形成	意見	Dグループ(第2回)	都市計画課	建設
370	公園都市構想では、公園はいいのだが、各地域に散歩するコースがない。郊外でも散歩する人が増えてきたが、そこでは農道を歩いている。散歩のことを考えた構想を望む。	公園整備	意見	Aグループ(第1回)	都市計画課	建設
371	市の花火大会があったが河川敷の草むらは歩くことができなかった。もっときれいにしてもらいたい。ソウルのチョンゲチョン川は、きれいに整備しライトアップして美しい。山居の建物だけでなく川もきれいにすべきだ。	公園整備	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
372	酒田には土門拳記念館など他にない魅力的な施設がいっぱいある。公園の中に入ったら、くもの巣など手入れのされていない場所があった。観光客は通らないと思うが、もし観光客がこれを見たらどう思うだろうか。土門拳記念館で見た感動が半減してしまうのではないかと。目が付くところだけでもきれいにしたい。そうすれば今あるものも十分に観光として活かされると思う。	公園整備	要望	Cグループ(第3回)	都市計画課	建設
373	観光については駅前開発が緊急の課題だ。駅前には酒田の玄関であり、広場や商店街が欲しい。他にも元気老人が入れるようなマンションを建てて、階下には地場産品を売る店や屋台村をつくりたい。この前、帯広の屋台村のことをテレビで放送していたが、活気があった。	都市整備	意見	Bグループ(第2回)	都市計画課	建設
374	観光客は酒田独自の店があることが、酒田へ来たという楽しみになるのではないかと。その店を維持する努力をその店だけでなく、まわりから仕掛けていく必要がある。駅前にはいろいろな考え方の人がいるが、土地だけでも相当の金がかかると思うので、新幹線が来たときにうまく開発するののも一つの手ではないか。その時、国とJRからお金をもらって開発するのが理想ではないか。駅前は酒田に来た観光客のための顔となる。	都市整備	意見	Cグループ(第3回)	都市計画課 企画調整課	建設
375	酒田の顔としての駅前の整備を進めてもらいたい。	都市整備	意見	Dグループ(第2回)	都市計画課	建設
376	ジャスコ跡地を囲っている鉄板の仮囲いを何とかしてもらいたい。	都市整備	意見	Dグループ(第2回)	都市計画課	建設
377	酒田の玄関としては駅がメインなので、駅前を早めに解決してほしい。	都市整備	意見	Dグループ(第3回)	都市計画課	建設

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
378	最近是中町にマンションと本間病院が出来てそれにもない商店も出店した。医療と高齢者がタイアップして全国的にも注目される非常によいことであったと考える。	都市整備	意見	Aグループ(第1回)	都市計画課	建設
379	駅前開発は、現在の状況ではなにか建築物を建てるというのは不可能ではないのか。まずは、公園として整備してはどうか。	都市整備	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
380	駅前に降りると悲しい気持ちになる。民有地ではあるがいつまでもあの状態ではまずい。鉄の柵で囲まれているが、せめてあの柵に絵を描くとか工夫して悲しくならぬようににはできないものか。	都市整備	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
381	駅前の開発は、現在の状況では規模が小さすぎて何もできない。周辺の整備も含めて考えるべきだ。開発の図面を描くのも雪を知らない東京のデベロッパーではなく地元でやるべきだ。	都市整備	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
382	駅前には、再開発しても成り立たないのではないかと。現在は、車中心の考え方でないと開発は難しくなっている。	都市整備	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
383	商店街は、シャッター通りになっている。アーケードは、防災地域や準防災地域になっているため火災に強い作りになっているが、本来アーケードは人を呼び込むためにあるものだ。これからは市民が防災に関心を持ち、またにぎわいを考えた町並み形成を行うべきだ。	都市整備	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
384	希望ホールができてからコンサートも増え、県外からも人が来るようになった。しかし、空港からは遠いし、新幹線もないので不便だ。駅周辺をもっと活気づけて欲しい。	都市整備	要望	Aグループ(第3回)	都市計画課	建設
385	10年後の酒田をどうもっていくのか。ターゲットを絞る必要がある。メインをどうするか。駅前開発なのか中町なのか討論すべきだ。	都市整備	意見	Aグループ(第3回)	都市計画課	建設
386	都市開発については、コンセプトが大事である。仙台は、戦後60年かかって成功しており、5年後にというのはかなり厳しいことで、10年後あるいは20年後ということで、コンセプトをきちんとしていくべきだと思う。今、本間病院を核とした施設がスタートしたわけであり、それをどう展開していくか、既に整理されている部分を、広げていったらどうかということもある。	都市整備	意見	Cグループ(第2回)	都市計画課	建設
387	駅前の土地を市で買い求めて開発するという情報もある。あの界隈の開発にがっかりと向かってほしい。八幡、平田、松山の市民もそこに行ったら楽しいというようなまちづくりをしてほしい。	都市整備	意見	Cグループ(第3回)	都市計画課	建設
388	都市開発では、市民の心のよりどころは何かを考えるべきだ。酒田には神社仏閣等立派なものが多くある。それらの維持にも心を配るべきだ。	都市整備 景観形成	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設
389	ヒートアイランド現象が進んでいるとテレビの番組で見た。これからのまちづくりでは建物を建てる時は、あわせて木や植物を植えるべきだ。緑が多いと心の安らぎにもつながる。	緑化の推進	意見	Aグループ(第2回)	都市計画課	建設

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
390	景観の話で、大火後の酒田市の空中写真ではセメント部分が非常に多くなっており、大火前から残っているのは、旧寺町通りのお寺さんの緑である。駐車場を許可する場合は少なくとも木の2、3本は植えるとかの条件にしてもらいたいし、公共施設は屋上に緑を植えて緑化するなど行政自らが模範を示すべきである。	緑化の推進	意見	Cグループ(第2回)	都市計画課	建設
391	公共施設の耐震化は段階的に行うのではなく緊急にやる必要がある所は直ぐにやるべきだ。耐震の水道管が26%しかないというならライフラインの維持は空論になる。	防災対策	意見	Aグループ(第2回)	水道部管理課	建設

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
392	高校再編で酒田市立中央高校が統合するが、以前に商業工業が分立しその後また一緒になるとはどうか。もう少し慎重に構えた方がよい。	学校教育	意見	Aグループ(第1回)	教育委員会 管理課	文教
393	ごみのリサイクルを市民には勧めている。しかし、昨今の学校プールの新築状況を見るとFRP材質のプールを採用している。材料をよく吟味しリサイクルのことを考えればステンレス製のプールもあるはずである。耐震性もあるので非常時の水源の確保もできる。	学校教育	意見	Aグループ(第2回)	教育委員会 管理課	文教
394	教育環境の充実について、学校を建て直す際に、耐久性のため鉄筋コンクリートで造っている。県産材の木材で学校を建てられないか。環境に配慮した学校づくりが必要ではないか。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	教育委員会 管理課 建築課	文教
395	高校教育について、県内には市立高校は酒田中央と山形商業の2つしかなく、酒田市は誇るべき市立の高校を持っている。現実には予算がなくて施設が老朽化している。統合の問題で県教委のやり方に対して猛烈に反対してきた。酒田市教委の方針を支持して結果的に商業・工業・北高3校が統合され建設場所も決まったようだ。中学校の統合問題も控えているが、新しい高校がすばらしい高校になるように酒田市としても奮闘していただきたい。	学校教育	意見	Cグループ(第1回)	教育委員会 管理課	文教
396	公文大にはソーラーシステム、地下水を雑排水として利用している例もあるが、子どもの頃から見ていけば、自然環境の大切さを学ぶことができ、今の環境を保って引き渡すことができるのではないか。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
397	体験学習を取り入れるという提案には同感だ。十坂小では、10年前に学習林で自然の勉強を始めた。樹木の役割、保存、林の中の生き物などいろいろな勉強をしている。県の事業で、他でも取り組み始めたが、子どもが生き生きして山に行く授業、学校でできない授業を増やしてほしい。最近、林を守る人がいなくなり荒れてきている。林の必要性やどのようにすればいいのかを勉強してほしい。林がないとできない学習であり、小学校同士で連携しあいながら進めてほしい。八幡、平田、松山のいいところもある。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
398	教育格差を感じる。経済格差にもなるが、塾に行ける子どもは学力が高い。生活支援の部分が削減されるとも聞いている。最低限支えるところは支えるということが大事ではないか。	学校教育	要望	Cグループ(第1回)	学校教育課	文教
399	高校と小学校の子どもがいるが、夏休みが少なくなっている。5日制が絡んでくると思う。その辺を加味しながら2学期制度とかやっているが、そういったところを市として考えていくべきではないか。もっともっとゆとりを持たせた教育として5日制をやったけれども、尻に負われて授業が進んでいかないものだから、子どもを見てみるとすごく大変だ。	学校教育	意見	Cグループ(第1回)	学校教育課	文教
400	最近の新しい教育に変わってから携わっていないが、学生時代は土曜日でも3時間までしかなかったが、短い時間の中できちんと授業を受けられたし、半日あれば終わるというゆとりがあった。その3時間も年間で考えるとたくさん受けられる時間があったので、ゆとり教育、週5日制については疑問があった。最近の学力低下を考えていく必要がある。	学校教育	意見	Cグループ(第1回)	学校教育課	文教

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
411	財団法人日本ボールルーム連盟が文部科学省の主導の元に学校教育にダンスを取り入れる取り組みとして、学校の先生を対象としたカリキュラムが作られている。そのための第1段階として、週休2日制の子どもの居場所づくりとして、ジュニアスクールがある。自分のスタジオでも土曜夜に無料開放をしている。将来的には選手育成しスポーツ振興につなげたい。生涯学習という面では、おじいちゃんおばあちゃんから一緒に来てもらい、いい人づくりになっていると思うので、そういった取り組みを知ってもらいたい。去年、酒田で指導者講習会を行い、力を入れている。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課 生涯学習課	文教
412	情報発信源が学校となっていることが多い。松原小学校で総合学習で環境に取り組んで4年になる。小牧川でざっこしめを始めて約3年経過した。今年は、県の動きもありホテルを飛ばす活動を行政、地域、学校一体となって始めた。子どもにいい環境を残したいと思って活動しているが、アミや胴長を買うお金がなくて四苦八苦している。子どもが川に入っていると命の大切さやごみを捨てない気持ちができる。総合学習ではいい活動だと思うので、資機材を含めた総合学習の環境学習を行なうための体制を作ってもらいたい。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
413	小学校は、酒田、旧町、遊佐と新築ラッシュだが、小学校の新生児が5～6人の学校もある。地域の人を使うからということだと思うが、建物が必要だったのか、統廃合できなかったのかと思う。お金のかけ方をもう一度考えた方がいいと思う。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
414	中学校の統合について説明会があった。統合が進むと学区が広くなり、子供の姿が見えなくなる。部活で遅く帰る場合もあり、登下校の安全を第1に考えて配慮してほしい。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
415	希望ホールで吹奏楽の中高生の大会があり、食事を地べたに座って食べている。文化施設で、玄関や小ホールで地べたに座って食べているところを改善したら文化の振興につながると思う。県民会館でも狭い場所で同じ時間帯に食事をとるため同じ状況だが、食事についての教育をしているが、そこでは崩れてしまうので配慮してほしい。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
416	学校規模の適正化について、酒田市では複式学級はやらない、100人以下の小学校は作らないということ前提にしてきた。教育委員会は、地域との話し合いを進め、ある時期には行政として決断をして進めてほしい。小学校と中学校で背景が違う。中学校は多少通学距離が長くなるというが、昔は全市から一つの中学校に通った。一定規模における教育の充実を図り、専門の先生が教えられるように一定規模の学校に収斂してほしい。小学校は、地域コミュニティとの関係があるので簡単に整理すればいいというものではないが、地域との話し合いを進めてほしい。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
417	子供の安全確保の問題と、不審者については情報を出してほしい。野放しにしないようにしてほしい。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
418	見守り隊が1年間で全小学校にできた。その活動の中ではそういった情報はかなり公開されている。松原でもPTAから共稼ぎで日中いないので、地区の老人クラブを中心にやってほしいと言われたが、自分の子どもを守るのは父兄であり、それをサポートするのが老人の役割である。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
419	学校規模の適正化について 旧酒田市と旧三町では複式学級のあり方について違いがある。教育レベルの低下や財政との兼ね合いから、複式学級を認めない方針を明らかにしてもらいたい。また、複式学級を認めないとともに、小規模の学校の統合が進むよう地元積極的に働きかける必要がある。特に中学校では、教員の複数教科担当を避けるため、統合を進めるべきである。そのためには、通学手段に配慮しなければならない。	学校教育	意見	Dグループ(第2回)	学校教育課	文教

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
420	学校給食については、いちご畑、ヨッピーネから出して足りない分は業者が出している。夏は野菜が豊富だが、冬になるとジャガイモなど貯蔵できるものしか出せなくなる。米は、農協が協力してはえぬきを100%出している。子供には、どのように農産物を作って美味しいものができるのかを教えなければならぬと思う。旧市内の学校では農業体験もなく、受け入れ態勢も不十分だ。	学校教育	意見	Dグループ(第3回)	学校教育課	文教
421	毎日のように子や親が殺されたニュースが流れる。親の教育が必要ではないか。	学校教育	意見	Dグループ(第1回)	学校教育課	文教
422	創業という時代なので、高校の図書館に創業に関するもの、企業を起すとか、商売の魅力とか、文学の本を置くだけでなく、起業にリンクするような本を置くことで、企業を起すための場になるのではないか。	学校教育	意見	Cグループ(第1回)	学校教育課	文教
423	小学生の英語教育ということで平田中学校学区が県の指定を受けて取り組んでいる。これについて皆さんからご意見をいただければと考えている。	学校教育	意見	Cグループ(第1回)	学校教育課	文教
424	企業誘致の条件として人材確保が必要であり、今後第2次産業の人材不足が出てくるはずだ。都市からUターン現象が出ており、人材の豊富などに戻ってくると思うので、大学、学校などレベルの高い人材育成に取り組んでほしい。	人材育成	意見	Dグループ(第3回)	学校教育課	文教
425	生涯学習では、コミ振への住民の負担金が高すぎる。内部機構を変え、民間委託を進めることなど提案したい。	生涯学習	意見	Aグループ(第1回)	生涯学習課	文教
426	家庭での子どもの教育がおろそかになっているのか、情報が多すぎるのか家庭教育が自分たちの頃と変わってきていると感じる。	生涯学習	意見	Aグループ(第1回)	生涯学習課	文教
427	現状の施策は、施設整備とプログラムづくりに偏りすぎている。これでは人づくりにならない。人と人とのつながりが必要だが、大人と大人が多い。子どもと大人のつながりができるのもっとあればよい。現在は、専門的な物がつくれ過ぎていて、お宅とかカルトとへいきそうなものもある。	生涯学習	意見	Aグループ(第1回)	生涯学習課	文教
428	子どもたちに日本の文化を体験させるべき。出羽遊心館を活用し茶道を体験させてはどうか。日本の文化を外国に行っても胸を張って話せるよう教育や人づくりを考えるべき。	生涯学習	意見	Aグループ(第1回)	生涯学習課	文教
429	お昼にカラオケにいっておじさんおばさんもいる。若者と豊富な知識や経験をもつおじさんおばさんの交流をやるべきだ。外国語の講師をやっているが外国の良いところをもっと伝えるようにしたい。	生涯学習	意見	Aグループ(第1回)	生涯学習課	文教
430	漠然としているが、地域の活性化のためには、世代間交流と他の地域から人が集まり交流できるような体制づくりが必要と考える。	生涯学習	意見	Aグループ(第1回)	生涯学習課	文教
431	総合文化センターは市民にとって宝物だ。おじさん、おばさんがこの建物の中でいろんな活動をしている。ただ若者が少ないが。個々の活動を中町で披露してはどうか。	生涯学習	意見	Aグループ(第3回)	生涯学習課	文教

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
432	学校教育現場以外での指導者育成が必要と考える。現場の経験を積んでいない人が、指導者となっているケースがあるが、子どもたちが道を誤らないために、技術的な面だけでなく、内面的な面でも指導者の育成が必要である。	生涯学習	意見	Bグループ(第1回)	生涯学習課	文教
433	学校の先生を地域に戻すために学校開放が必要である。学校の先生がいないと学校が使えない状況だが、今後は、空き教室もあるので学校開放を進める必要がある。	生涯学習	意見	Bグループ(第1回)	生涯学習課	文教
434	合併により生涯学習を受けるエリアが広がった。情報プラザの講座に人が集まらず運営行き詰まってきたと聞く。講座が市民のみなさんに知られておらず、時間帯と曜日が合わないなどがあり、もう少し行政と民間が分かり合える、歩み寄れる連携ができてくると、自主運営によるサークル化が進んでくるとか、文化センターにも講座があったが閉めているところもある。施設があり先生がいるので有効利用すれば街の元気につながると思う。	生涯学習	意見	Dグループ(第1回)	生涯学習課	文教
435	生涯学習について、現状1の の三行目で学習成果を活力ある地域づくりに活かし生涯学習体制の整備を行うとある。趣味的な生涯学習があるが、そうでない生涯学習があるということを盛んに言っている。生涯学習は、高齢者にとっては生きがいづくりの場である。学習の場に参加することにより日々の生きがいを作っていくということだと思ふ。その観点からすると、生涯学習を地域づくりに活かしていくというのは、歴史、公益、勉強が生涯学習であるということ書かれているが、生涯学習にはたくさんのことが含まれており、そういった観点を間違えないようにしてほしい。	生涯学習	意見	Dグループ(第1回)	生涯学習課	文教
436	生涯学習の推進計画は、これまで一回も行政から説明を受けたことがないと思う。もし策定するのであれば、関係者の意見を踏まえて計画策定してほしい。	生涯学習	意見	Dグループ(第1回)	生涯学習課	文教
437	人づくりで一番重要なことは子どもを育てることだと思ふ。酒田の良さを幼児体験としてしみこませる必要がある。学校教育の現場はもちろん、地域の中で積み重ねていく必要がある。それが浸透していけば、将来大学にいったこのまちを離れても、何かのきっかけでもどってくることにもなる。酒田大好き人間を育てたい。	人づくり	意見	Bグループ(第1回)	生涯学習課	文教
438	酒田にきて、誰でも学べるし、誰でも指導者になれると感じた。この恵まれたフィールドを活かし、小さいころからいろんなことを体験させることが大事だと考える。	人づくり	意見	Bグループ(第1回)	生涯学習課	文教
439	生徒は他地域に比べて素直である。中高齢者のやりがい教育、生涯教育については仕組みとして弱いのではないか。	生涯学習	意見	Cグループ(第1回)	生涯学習課	文教
440	メディアセンターの図書館によく行く。施設も充実しているので利用者数が増えるような工夫をするとコミュニケーションや情報交換の機会が増える。良い傾向にあると思うのでもっと充実していただきたい。	生涯学習	意見	Cグループ(第1回)	生涯学習課	文教
441	文化センターの喫茶店はなぜやめたのか。費用対効果か。今、物置のようにになっている。入り口でもあるので、少なくともギャラリーにでもすべきではないか。商業ベースでは採算は取れないと思う。ボランティア団体などに貸与してやってもらう方法もある。	生涯学習	意見	Cグループ(第3回)	生涯学習課	文教
442	空き店舗を利用する。文化センターの空いているところは、コーヒーもよいが、若い人たちにコンビニエンスストアをやらせるのもよいのではないか。この地域は高齢者も多いから需要もあると思う。	生涯学習	意見	Cグループ(第3回)	生涯学習課	文教

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
443	立派な市民会館が出来て、多くの各種催事が開催されるようになった。この施設を利用して学問的な、教育的な講演を開催してもらいたい。	人づくり	要望	Bグループ(第1回)	文化課	文教
444	市民会館は住民と行政が連携し運営委員が自主事業を企画して運営しており、開館から2年経つがうまく運営している。今後も続けてやってもらいたい。	文化振興	意見	Dグループ(第1回)	文化課	文教
445	希望ホールについては、飲料を販売するところがない。子どものイベントもあるのでホワイエでは休めるように配慮してほしい。	文化振興	意見	Dグループ(第1回)	文化課	文教
446	文化施設は、人が入るような整備をすべきだ。観光と結びついてくる。広くPRし知ってもらおう工夫も必要。広域合併して広くなった民間施設も含めて地図に落とししたPRパンフが必要だ。	文化振興	意見	Aグループ(第1回)	文化課	文教
447	資料館の入館者は年間6千人、一桁違うのではないか。山居倉庫を1棟から2棟を資料館として整備すべきではないか。全農と交渉してはどうか。日吉町の料亭の利活用を検討したり、中心商店街の空き店舗などに資料館の貴重な資料を分散して展示するなど工夫も必要ではないか。	文化振興	意見	Aグループ(第1回)	文化課	文教
448	小中学生が酒田の良さを体験できる施設が不足している。公園は多いが資料館は小さい。子どもや観光客に見せる施設を整備すべきだ。	文化振興	意見	Aグループ(第2回)	文化課	文教
449	友人の亡夫に鳥海山の植物採集と昆虫採集を行った方がいる。どちらも価値ある貴重な資料だが個人で保管してくださっている。公的には開発されていないし利用もされていないのでもう少し考えてほしい。	文化振興	意見	Aグループ(第3回)	文化課	文教
450	城輪柵跡を大きな博物館にすればよい。平安色を出して食事を提供し、記念写真用の顔を出すセットでも置いたらどうか。今のままでも維持費がかかるのだから。イベントだが国府の火祭りや岸陽子を記念した音楽祭とかいつのまにか無くなっているものがある。簡単に止めるのではなく、人が集まらないのなら集まるようにすればよいのではないか。	文化振興	意見	Aグループ(第3回)	文化課	文教
451	酒田市には、文化施設、スポーツ施設が多くあるので、もし無いなら利用拡大を図るためにも文化施設のマップを作ってはどうか。	文化振興	要望	Bグループ(第1回)	文化課	文教
452	文化施設の利用拡大について、山居倉庫にキャンドルナイトで無料のときに入ったが、酒田市の文化施設に市民で入ったことのない人が結構いるのではないか。酒田市民は、無料開放してもらいたい。酒田市民だという証明があれば、有料施設をすべて無料で入館できるようにし観光客からお金をもらえばいい。お金をとって利用者が少ないのであれば、とらないで来てもらったほうがいい。施設があることがわかれば、帰省してきた友達や親類縁者を連れていくこともでき、アピールができる。施設を有効に活用してもらいたいのであれば、酒田市民を無料解放してもらいたい。	文化振興	意見	Dグループ(第1回)	文化課	文教
453	施設の無料開放については、賛成だが、財政的なものもあり年がら年中というわけにも行かないので、夏休みの父兄については無料にするという方法もある。いい提案だと思う。	文化振興	意見	Dグループ(第1回)	文化課	文教

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
454	資料館の入館料は、60歳以上は無料だったが合併を期に100円となった。貴重な資料があり、もっと宣伝してもらいたい。	文化振興	意見	Dグループ(第1回)	文化課	文教
455	美術館は有名人の作品展を行なうとか努力により赤字が縮小していると聞く。土門拳記念館は、写真だけで土門拳の写真を中心に展示されており、すばらしい写真ではあるが何回も続けて見にいけない。写真愛好者の作品展などを行い、地元の人が撮った作品であれば共感するし、鳥海山や日本海などの写真を展示すれば見に行くのではだろうか。せっかくの施設であり再検討の余地はあるが、抜本的に見直さないと良くなりず市の操出金が減らないということになってしまう。	文化振興	意見	Dグループ(第1回)	文化課	文教
456	酒田希望ホールの利用率は年々拡大している。酒田市の文化振興としては誇るべきだと思う。旧八幡・旧平田・旧松山の皆さんからも自分たちのホールとして利用していただきたい。	文化振興	意見	Cグループ(第1回)	文化課	文教
457	スポーツ振興では、光ヶ丘陸上競技場を整備すべきだ。昭和30年に出来た頃は1種の競技場だったが今は3種だ。野球場も同じく内野スタンドをベンチではなく椅子にするなど整備すべきだ。高校野球の準決勝や決勝もこない状況では困る。見せるのも勉強だ。	スポーツ振興	意見	Aグループ(第1回)	体育課	文教
458	これまでの整備されたスポーツ施設をみると中途半端な気がする。県に要望して庄内にもっと国内外トップレベルのイベント競技会を呼べるような施設整備の構想を持ってほしい。	スポーツ振興	意見	Aグループ(第1回)	体育課	文教
459	スポーツ振興では、ヨットは、国体の頃は盛んだったが今は愛好者だけになってしまった。このような自然を通したスポーツも大切なのもっと振興すべきだ。	スポーツ振興	意見	Aグループ(第1回)	体育課	文教
460	スポーツの振興では、酒田には合宿施設がないと言われている。新設すれば費用が大変だ。企業の空き寮などを活用できないのか。公設民営でやってもらいたい。	スポーツ振興	意見	Aグループ(第1回)	体育課	文教
461	スポーツ振興だが、八幡地区の総合型スポーツクラブの理事をやっている。イベントを行っているが、会員だけの活動になってしまっているのが現状だ。他地域や他団体などとの横のつながりをもっと必要と考えている。	スポーツ振興	意見	Aグループ(第1回)	体育課	文教
462	箱物整備は控える方針だが、国体記念体育館は築14年になるし10年後には24年になり相当老朽化することになる。将来を見据えた箱物整備の構想も必要ではないか。	スポーツ振興	意見	Aグループ(第2回)	体育課	文教
463	サッカーには、サポーターがいてイタリアまでも追っかけていくものだ。酒田に有名な選手を連れてくれば人もついてくる。それには、それなりの施設の整備が必要だ。	スポーツ振興	意見	Aグループ(第3回)	体育課	文教
464	陸上競技場のスタンドの状況を見て驚いた。全面改築する必要はないが、一定の改修は行うべきである。	スポーツ振興	意見	Bグループ(第1回)	体育課	文教

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
465	スポーツ振興のために、トライアスロンを全国から人を集めてやっているが、毎年補助金が減らされている。財政状況が厳しいのは分かるが、やる気を失ってしまうことになる。今後は、補助金を上げていく方向でお願いしたい。	スポーツ振興	要望	Bグループ(第1回)	体育課	文教
466	1人1スポーツというスローガンがあったが、春から秋はスポーツに取り組む時間がないが冬期間に取り組みやすいスポーツがあれば参加しやすいと思う。	スポーツ振興	要望	Dグループ(第1回)	体育課	文教
467	総合型地域スポーツクラブは、中学校単位でスポーツクラブの設立を支援してきたとあるが、東禅寺でもスポーツクラブを作ったが2年でやめた。スタート時はいろいろな予算を付けるという話だったがその後のサポートがほとんどつかなかった。しかし、そのクラブは生かしていこうということでコミュニティ振興会の事業に取り入れて東禅寺は12のスポーツクラブでやっている。現状認識が当事者からすると実際の経過に合っていない記載の仕方だと思う。	スポーツ振興	意見	Dグループ(第1回)	体育課	文教
468	旧市全体をみると、体育施設などは、市営体育館を除き、市の南部、亀城、松原、港南学区には、ほとんど市の施設がない。松陵学区、光ヶ丘を中心とした配置になっている。充実を考えるのであれば、そういう体制を考えた計画を立ててほしい。	スポーツ振興	意見	Dグループ(第1回)	体育課	文教
469	施設の管理人をしている人が、とび箱などの道具などが古くて危険なところもあるという話をしていた。	スポーツ振興	意見	Dグループ(第1回)	体育課	文教
470	スポーツの振興の視点では、競技スポーツとレクリエーション型スポーツの役割分担をもっと明確にする必要がある。	スポーツ振興	意見	Dグループ(第2回)	体育課	文教
471	スポーツにも差があって、部活動、地域スポーツクラブというものがある。部活動であれば若干の支援はあるが、特にスポーツクラブはお金がかかる。地域型を広い地域で見ても、いろいろな子どもたちが、スポーツに打ち込めるようなNPO組織ができないだろうか。仙台にはあるが、お互いに出し合っただけで子どもたちを支えていこうというような仕掛けがあればいいと思う。	スポーツ振興	要望	Cグループ(第1回)	体育課	文教
472	図書館では、高齢化社会の到来で聞く本(朗読)の需要が増えているのではないかと。CDやテープなどの活用を望む。	図書館の充実	意見	Aグループ(第1回)	図書館	文教
473	図書館の環境が良くなったと思う。今後さらに、大学の本を借りて、この図書館で本を返すことをできるシステムやインターネットを利用して検索ができるようにするなどネットワーク化を図りサービスを充実していく必要がある。また、2階に上がってすぐにある事務所の場所については見直しが必要だと思う。2階としての機能を考えもっとスペースを有効に利用してもらいたい。	図書館の充実	要望	Bグループ(第1回)	図書館	文教

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
474	図書館は、子ども用と成人用の書架が別室に分けられ、奥に子供用の本が置いてある。親子で行くと手間が余分にかかるので、配置を再考してほしい。	図書館の充実	意見	Dグループ(第1回)	図書館	文教
475	図書館に小さな子供の遊ぶスペースがあるが、若いお母さんがそういうスペースがあることを知らないと思う。広報で知らせていても若いお母さんは見ないと思う。	図書館の充実	意見	Dグループ(第1回)	図書館	文教
476	学校と地域を結び付けるという意味で図書館はすごく重要性を持つ。量より質と言われている時代なのでさらに重要性が増す。	図書館の充実	意見	Cグループ(第1回)	図書館	文教
477	図書館の充実に関して、キーワードは検索できる図書館の専門員サーチャーが、情報の収集力をどれだけ持っているかで図書館の優劣が決まってくる。ハード部分は充実しているので、ソフト部分を充実させてはどうか。	図書館の充実	意見	Cグループ(第1回)	図書館	文教
478	図書について、お母さんたちからいただいた意見として、今回児童図書で絵本の図書と分かれたが使いづらいという意見が寄せられた。本の分け方で絵本は児童図書、もう少し上の世代の読む図鑑などの本は、もとの場所にあるとか、絵本の部屋に入るときは靴を脱がなければいけないとか、子どもたちが「わーと」とできる雰囲気ではないとか、絵本の部屋と一般図書の開館時間が9時と10時に分かれているために不便だという意見が出された。	図書館の充実	意見	Cグループ(第1回)	図書館	文教
479	図書の充実の中に総合的な図書館整備がある。将来的な旧酒田市の方向性はあるが、はたして場所が旧酒田市内でよいのか。平田図書センターは旧酒田市の皆さんからの利用も多い。松山や八幡の公民館には、それなりの図書館はあるが比べると随分差がある。将来的な図書館の位置付けを考えると、全市的な市域の中で考える必要があるのではないか。	図書館の充実	要望	Cグループ(第1回)	図書館	文教
480	施設については充実している。それを合併しているいるなものが増えたと思うが、施設がどこにあるかよくわからない。じょうずにPRすれば効率よく有効利用できるのではないか。	行財政改革	要望	Cグループ(第1回)	総務課	行財政
481	合併したばかりなのに集中改革プランでは、職員の削減、給与の削減などマイナス面ばかりが目立つのは残念だ。これでは一体感がわいてこない。節約はいいが、これと平行して前向きなプランも示していただきたい。	行財政改革	意見	Aグループ(第3回)	総務課	行財政
482	合併してもさっぱりいいことがないという声が聞こえる。これらを解消するために、当面は支所権限等を強化するような経過措置は必要と考えるので配慮をお願いしたい。私も支所は当然早晚廃止すべきとは考えるが、合併してまだ間もないので、期間は必要と考える。	行財政改革	意見	Aグループ(第1回)	総務課	行財政
483	市の施設については大胆に民間委託を進めるべきだ。たとえば空き教室も民間に委託し有効活用を図るべきだ、公民館も含めて。	行財政改革	意見	Aグループ(第1回)	総務課	行財政

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
484	松林荘は、低所得者への配慮をしつつ法人移管を進めるべき。	行財政改革	意見	Dグループ(第2回)	総務課	行財政
485	国の法律改正に対応して、先鞭をもって教育委員会を廃止してもいいのでは。	行財政改革	意見	Dグループ(第3回)	総務課	行財政
486	収入役制度廃止し、機能を市長部局に置いたほうがいい。	行財政改革	意見	Dグループ(第3回)	総務課	行財政
487	行政改革の進め方の大原則としては、改革すべき部門、業務内容は、要員問題と別に検討し、方向性、結論をきちんと持っておく。	行財政改革	意見	Dグループ(第3回)	総務課	行財政
488	個人情報保護法の緩和は民間ではできないので、行政主導で何らかの改善をしていくべき大きな課題として、取り組んでいく必要がある。みんなで情報の連携を組んでいこうという時に、こんな状態では本当にいいものが見つかるのか。	行財政改革	意見	Cグループ(第2回)	総務課	行財政
489	個人情報保護法ができてデメリットの方が多い。	行財政改革	意見	Cグループ(第2回)	総務課	行財政
490	行財政を諮問する委員会が立ち上がっている。酒田市行財政改革プラン推進委員会から意見書が出ている。そこからいろいろな意見が出ており、それに対して意見を言ったとしても、組み込まれていくかが心配である。	行財政改革	意見	Cグループ(第3回)	総務課	行財政
491	生涯学習の推進とあるが、教育委員会ではなく、企画調整部が担当すべきものではないかと思う。行政の中でも教育委員会は聖域のようにになっている。行政の内部で協議をして分担を替えるべきである。	行財政改革	意見	Cグループ(第3回)	総務課	行財政
492	行政の責任ある、あるいは与えられている皆さんが、よく先進地の視察をされている。視察したところについて、具体的に行政、あるいは地域に活かしてもらうことが大切である。先進地を視察された皆さんに提言してもらい、それを具体的に行政、あるいは地域に活かしていただければと思う。	行財政改革	要望	Cグループ(第2回)	総務課	行財政
493	市立保育園の民営化を阻害しているのは、地元や保護者ではなく保育士の待遇問題があるからではないか。	行財政改革	意見	Dグループ(第2回)	職員課	行財政
494	学校給食、保育園の民間移管についても、保育の行き場がないからという発想では話が進まない。	行財政改革	意見	Dグループ(第3回)	職員課	行財政
495	余剰人員の再配置については、民間への出向を広い意味での職員教育に活用し、集中的で弾力のある配置をする。また、「省事」(事を省くこと)を検討する。	行財政改革	意見	Dグループ(第3回)	職員課	行財政
496	市役所の庁舎が汚い。予算があれば外側をきれいにしてほしい。	行財政改革	要望	Cグループ(第3回)	管財課	行財政
497	商業の振興では、中心商店街への税の問題がある。高すぎるのだ。中心商店街の税率を下げ、逆に郊外の税率を上げてはどうか。	行財政改革	意見	Aグループ(第3回)	税務課	行財政

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
498	税の未納額が大きすぎる。平成17年度では、市税で約10億円、国保税で約11億円もある。これを解消していかないと、新しい税をつくってもうまくいかない。集中改革プランにも余り決め手となるものがない。インターネット公売などの目標数値などはあるが、もっと具体的に、例えば5年で滞納額を半減するというような目標を立てるべきだ。一番大きな財源確保策となる。	行財政改革	意見	Aグループ(第3回)	納税課	行財政
499	国民健康保険税納付書は、字が小さくて見にくいので改善してもらいたい。分かりやすく、納得して納付できるようにしてもらいたい。県市民税については、どのような計算がされて税額がでるのか分かるよう疑問がでないような納付書の作り方をしてもらいたい。	行財政改革	要望	Bグループ(第1回)	納税課	行財政
500	合併して細かいものでなくなったものも多い。小さなことでは保育園のおはようブックシールがなくなった。すべて旧酒田市に合わせるのではなく、地域性はある程度あっても良いのではないか。	市町村合併	意見	Aグループ(第1回)	企画調整課	行財政
501	酒田で生活し始めて不自由や不便を感じたことはない。冬は大変だが、工夫して生活しているのが人だ。酒田は良い生活環境にあると思う。	生活環境	感想	Aグループ(第2回)	企画調整課	行財政
502	酒田は大火で商業から工業になり今は観光とふらふら歩きはじめているようだ。商業都市に持って行くべきか、まちづくりを進めるのかどうか議論すべきだ。	総合計画	意見	Aグループ(第3回)	企画調整課	行財政
503	都市機能のあり方を、全てそろったものとするのか。近隣と機能分担してやっていくのか方向性を明らかにする必要がある。また、10年後に必ず具体化するであろう道州制を視野に入れて考える必要がある。	総合計画	意見	Bグループ(第1回)	企画調整課	行財政
504	10年後に何を優先的にやるのかとなると、課題で並んでいる8項目から取捨選択しなければならぬ。何を優先的に予算を付けるかである。10年後に何をやるのか。何を夢として描くのかは難しい。誇れるまち、自分たちが住みやすいという街を作らなければ観光客は来ない。観光とは来た人が楽しみ、来た人が学ぶところがあり、地域の人と触れ合える街でなければいけない。酒田の人は気持ちが暗くなっている。有効求人倍率も県内職安の中で一番低い。夢をここでまとめるのはむずかしい。描く夢が出てこない。観光振興を考えるのであれば、若者へ聞け、よそ者に聞け、ばか者に聞けと言われている。よそ者に聞く機会が多くあるが、静かで良い街ですねと言われる。静かだということは活気がないということの裏返しである。お雛様の時もそうであるが、こんなにすばらしいお雛様があって、こんなにゆっくり見られた街はなかったと言われた。高山市などは観光客がいっぱいゆっくり見られないが、酒田は人のことを気にしないでゆっくり見られるということであった。喜んでよいのか悲しんでよいのかわからない。観光客を呼ぶためには、自分たちが街を誇りにするために何を身に付ければよいのだろうか。道路が新潟から繋がるまで10年も20年もかかる。10年後にできる可能性があることを描くべきだ。	総合計画	意見	Cグループ(第3回)	企画調整課	行財政
505	現状認識が違うところがあるのがいくつかあるので指摘したい。また、課題に対してすでに取り組んでいるものは早く進めてほしい。会議の進め方も検討してほしい。	総合計画	意見	Dグループ(第1回)	企画調整課	行財政
506	この会は、10年後20年後を見据えた考えを練っていくということだが、今どうするかであり、やはりここ5年くらい、最低でも10年くらいを考えないといけない。もう少し、目の前の事を、私たち70代、80代の人々が暮らせるまちづくりを描いてもらいたい。	総合計画	意見	Cグループ(第2回)	企画調整課	行財政
507	交通基盤の整備はもういらぬ。産業のインフラということで整備されてきたが、飛行場もあるし、高速道路もあるので、これからの投資は別の方へ向けるべきである。	総合計画	意見	Cグループ(第3回)	企画調整課	行財政

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
508	合併により旧1市3町の計画は新市建設計画に引き継がれている訳なのでその実施についてはよろしくお願ひしたい。	総合計画	要望	Aグループ(第1回)	企画調整課	行財政
509	まちづくりは人づくりである。人づくりに重点を置いた総合計画にしていだきたい。	総合計画	要望	Cグループ(第1回)	企画調整課	行財政
510	酒田市の後期計画を読んでみたが、夢のある内容となっていた。各分野に専門的な領域になることや実行の段階となったときに市民に内容が伝わりにくい。専門分野ごとに市民参加しようとする、また、することのできるコーディネーターが必要となる。	市民参加	意見	Dグループ(第2回)	まちづくり推進課	行財政
511	酒田市のホームページに、地域活動を紹介するページを作ることにより情報を共有できるコーナーがあったほうが良いと思う。	市民参加	意見	Dグループ(第3回)	まちづくり推進課	行財政
512	情報発信があまり上手でない。行政のホームページはどれも同であるが、あまり親切でなく、詳しいことはお問い合わせくださいというものが多い。自由な時間にいろんな情報を取れるようにしてもらいたい。	市民参加	意見	Bグループ(第1回)	まちづくり推進課	行財政
513	行政でよく意見を聞く会をやっているが、いろんな考えをもっている人も多いので、若い人、代表者ではない人の意見を広く聞く場を設けてもらいたい。PTA活動も変わってきた。親子で勉強しあって成長する必要がある。学区改編、統廃合は必要だと思うが、どのようになるのか見えていない状況なので、もっと情報を開示してもらいたい。	住民参加	要望	Bグループ(第1回)	まちづくり推進課	行財政
514	市長と市民の懇談会を月に2回は必ずやることにするとかしてほしい。	住民参加	意見	Aグループ(第3回)	まちづくり推進課	行財政
515	PRはやっているのだと思うが、今までと同じ方法ではなく思考を変えて、広報だけではなく民間も使ってもいいと思う。すばらしい施設もいっぱいあるので、その辺もアピールすることが必要だと思う。	住民参加	意見	Cグループ(第2回)	まちづくり推進課	行財政
516	人が集まる場所でPRするのが一番効率的。酒田でいえばジャスコ酒田南店や北のマックスバリュなどの民間に協力をお願いしたり、旧3町の産直、温泉など人の集まる場所でPRすることはいいと思う。	住民参加	意見	Cグループ(第2回)	まちづくり推進課	行財政
517	観光客の受け入れ先が少なくリゾート地として見られていない。観光客から見て魅力のあるところは少ないという印象があるが、住んでみると酒田市だけでなく旧3町にも、たくさん良いところがある。湯野浜であればホテルが並んでいたり、三川のショッピングセンターは店が並んでいたり、街としてメリハリがある。行けば必ず店があるということを知りやすくすることが大切と思う。新酒田市として市民と行政で盛り上げていくためにも市民一人ひとりにPRすることが大切だと思う。酒田でもふれあいの手紙やふれあいボックスを行っているので、気軽にできるというPRをパンフレットや市広報への折り込みなどでお願いしたい。	住民参加	意見	Cグループ(第3回)	まちづくり推進課	行財政
518	子どもに教える場合に、親にも一緒に教えなければならぬ大変な時代だ。インターネットで周知する場合も、活字で説明するより写真一枚でいいから興味があるもので説明するほうがいい。	住民参加	意見	Dグループ(第3回)	まちづくり推進課	行財政

NO	意見内容	分野	区分	開催	関係課	関係部会
519	市民参加、男女共同参画ウイズのサポーターとして全国の研修会に参加してきた。総合計画策定での市民参加型の50人委員会も県内では聞いたことがない。学区のまちづくりのマスタープランづくりにも、市民の意見を聞いている。市民参加を推進する市の姿勢には感心している。今後とも市民の参加を積極的に進めてもらいたい。	市民参加	意見	Cグループ(第3回)	まちづくり推進課	行財政
520	入札の際にCSR(企業の社会的責任)というのがあり、その社会的責任には、いろいろなものがある。環境とか人材育成とか、文化、NPOへの寄附行為などを入札評価に入れるべきだ。また、身障者を何名雇用しているとか、過去5年間の雇用状況がどうか、養育訓練、寄附をどれだけしているかなど企業の価値を見出す取り組みをすることで、企業も雇用に積極的になる。入ってから合わなかったというような早期退職も防ぐことができる。	行財政改革	意見	Cグループ(第3回)	財政課	行財政
521	最初に取りかかる課題はなにか、優先順位をつけてやるべきだ。広く浅くならないように重要度に応じてメリハリのある予算配分をすべきだ。	行財政改革	意見	Aグループ(第1回)	財政課	行財政
522	観光客の多い小樽でも赤字ときいている。財政的に酒田は本当に大丈夫なのか。赤字再建団体になるようなことがないようにしてもらいたい。	行財政改革	意見	Bグループ(第3回)	財政課	行財政
523	健全な財政基盤で、これからはお金を稼げる仕組みを市役所は考えていく必要がある。周辺の住民が酒田に集まってくる。観光客が集まってくる。優良の会社が来て賃金を上げてくれる。前向きな仕組みを考えてほしい。税金に頼るのではなく、ましてや地方債に頼るのはやめてほしい。	行財政改革	意見	Cグループ(第3回)	財政課	行財政
524	若い人の意見を聞くと財政は関係ない。駅前計画、コアタウン計画もそうだが、若い人たちは300億円もかかる案を出してくる。絵に描いたもちになる。理想も必要であるが財政的な面は考慮する必要がある。	行財政改革	意見	Cグループ(第3回)	財政課	行財政
525	昨今は社会保険庁の問題など出ているが、市としてもしっかりと市民に年金や健康保険のことなどを説明できる体制を整えるべきだ。	行財政改革	意見	Aグループ(第1回)	国保年金課	行財政
526	市民と行政の距離について、議会の傍聴が少ないが、市民が議会に関心を持ち傍聴することでいろいろな問題が見えてくるので、市民が意識を持つようにしてほしい。	市民参加	意見	Dグループ(第3回)	議会事務局	行財政
527	選挙は、平日に実施し、立会人もそろそろ廃止していくべきではないか、経費節減すべし。	行財政改革	意見	Aグループ(第1回)	選挙管理委員会	行財政
528	小中学校の改編を促進し維持費と教職員の減員化を図るべき。	行財政改革	意見	Dグループ(第3回)	学校教育課	行財政